

DNP

DIGITAL PHOTO PRINTER

DP-DS80D

プリンタードライバー 取扱説明書
For Windows Vista

●安全上の注意に関して

ご使用の前にプリンターのユーザーズマニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。また使用上のご注意や安全上のご注意等、安全に関するユーザーズマニュアルが作成された時点での基準に応じた内容となっておりますのでご了承ください。

●改造に関して

DP-DS80D プリンター及びプリンタードライバーとCDの内容物について、製品安全の為、改造することを禁止します。

●著作権に関して

この製品に付属する文書、プログラム等に関する著作権、商標権その他一切の知的財産権は大日本印刷株式会社またはその他の権利者に帰属しています。 適用法令上許容される場合を除き、大日本印刷株式会社の承諾を得ることなく、これらを複製等して使用することはできません。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
LEADTOOLS Copyright (C) 2008 LEAD Technologies, Inc.

目次

第1章 インストール	1
1.1 プリンターとパソコン本体の接続	1
1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード	1
1.3 プリンターの追加からのインストール	6
第2章 プロパティ	12
2.1 プリンターのプロパティの起動	12
2.2 印刷設定機能説明	14
2.2.1 レイアウト	14
2.2.2 詳細オプション	16
2.2.3 用紙／品質	19
2.2.4 用紙オプション	19
2.2.5 色調整	20
2.2.6 プリンター情報	21
2.3 各設定項目の初期値	22
2.4 色の管理	22
2.5 画像サイズ	23
2.6 印刷の向き	24
2.7 印刷方法	26
2.7.1 多面割付	26
2.7.2 多面割付アプリケーション使用例	28
2.7.3 両面印刷	29
第3章 ドライバー更新の方法	32
第4章 ドライバー削除の方法	38

第 1 章 インストール

1.1 プリンターとパソコン本体の接続

USB ケーブルでプリンターとパソコン本体を接続し、プリンターの電源を投入して下さい。

※接続に関しては DP-DS80D プリンターのユーザーズマニュアルをご参照下さい。

注意) この時点では、付属の CD を挿入しないで下さい。

管理者権限のある状態でログインして下さい。以降の説明では、管理者権限で操作されることを前提としています。

接続後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動された場合には、『1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード』の手順でインストールを行ってください。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動しない場合には、『1.3 プリンターの追加からのインストール』に従ってインストールを行ってください。

1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード

新しいハードウェア検出ウィザードが起動したら、「ドライバーソフトウェアを検索してインストールします (推奨) (L)」をクリックして下さい。

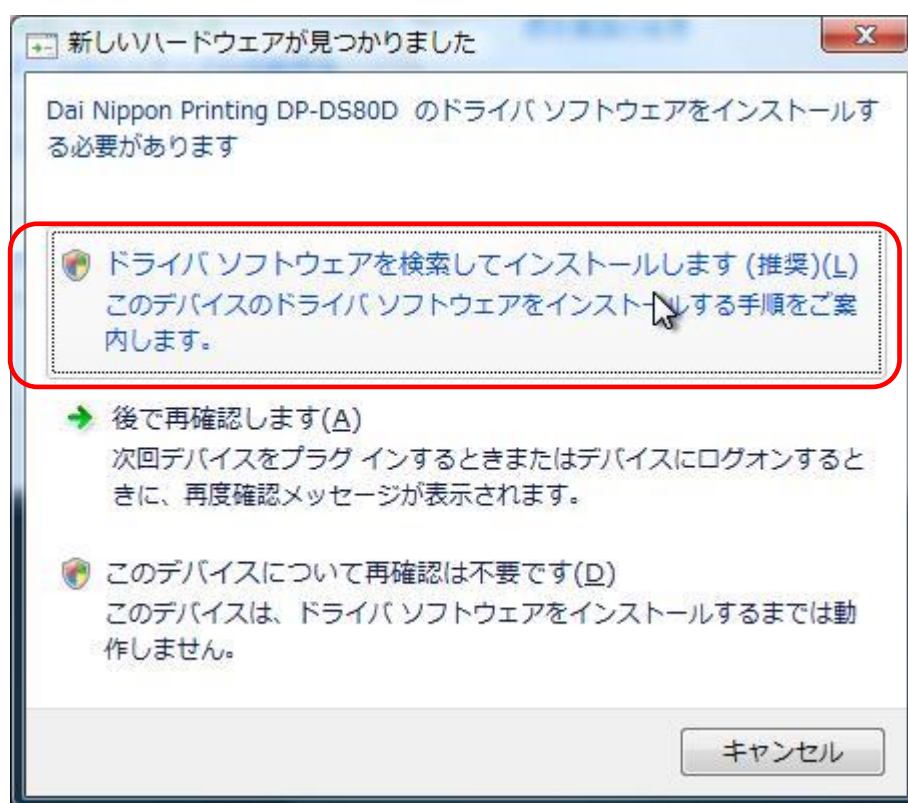


図 1.1 新しいハードウェアの検出ウィザード

注意) ユーザーアカウント制御で、「続行するにはあなたの許可が必要です。」と確認を求められますので、「続行」ボタンをクリックして下さい。

「Dai Nippon Printing DP-DS80D に付属のディスクを挿入して下さい。」画面が表示されたら、「ディスクはありません。他の方法を試します。」をクリックして下さい。

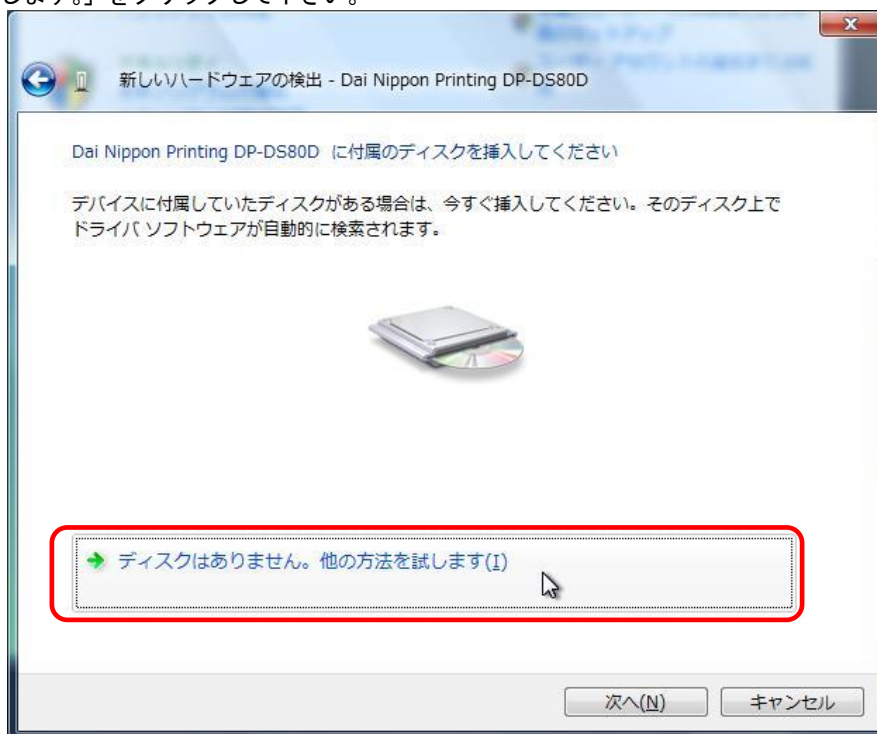


図 1.2 インストールディスクの挿入

「このデバイス用のドライバーソフトウェアが見つかりませんでした。」画面が表示されたら、「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します (上級) (R)」をクリックして下さい。

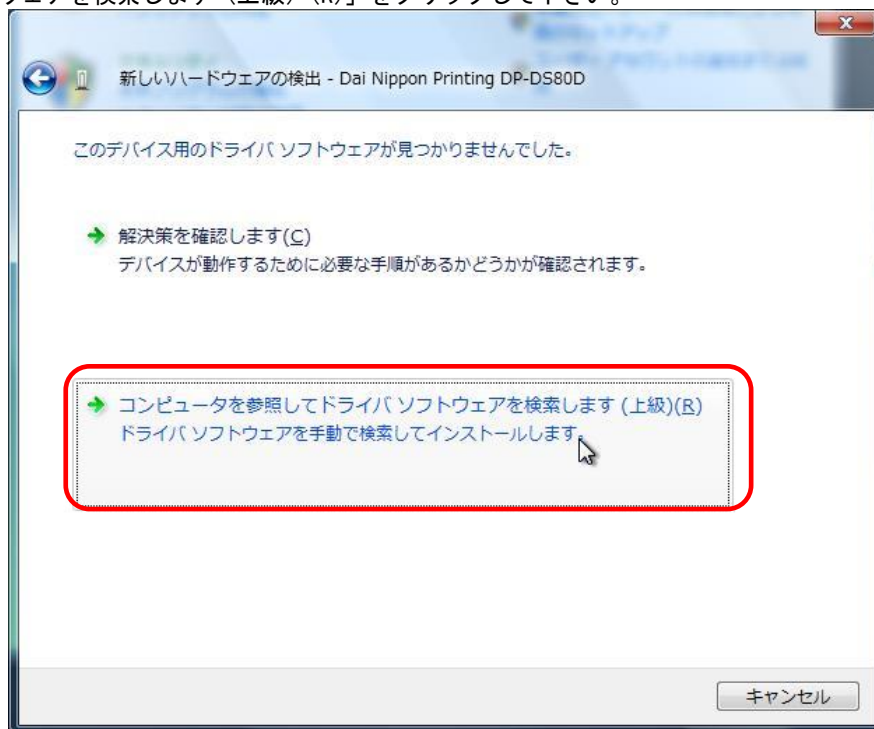


図 1.3 ドライバーソフトウェアが見つからなかった場合

注意) ここで添付 CD を挿入します。

「コンピュータ上のドライバーソフトウェアを参照します。」画面が表示されたら、「参照(R)」ボタンをクリックしてインストールディスクの場所を指定し、「次へ(N)」ボタンをクリックして下さい。

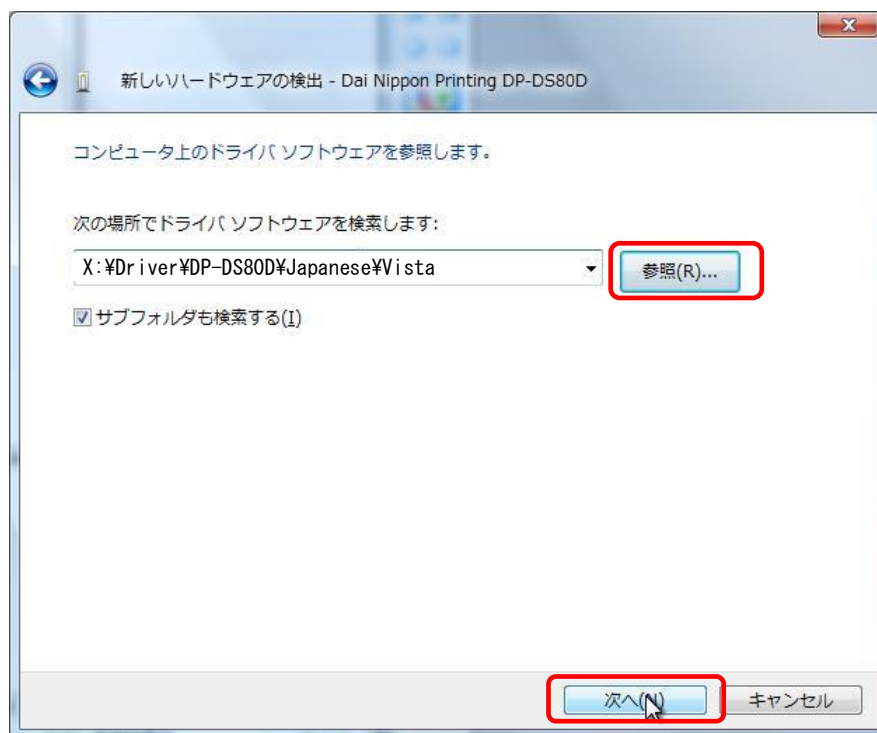


図 1.4 ドライバーソフトウェア場所の指定

Windows セキュリティ確認の画面が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします (I)」をクリックして下さい。

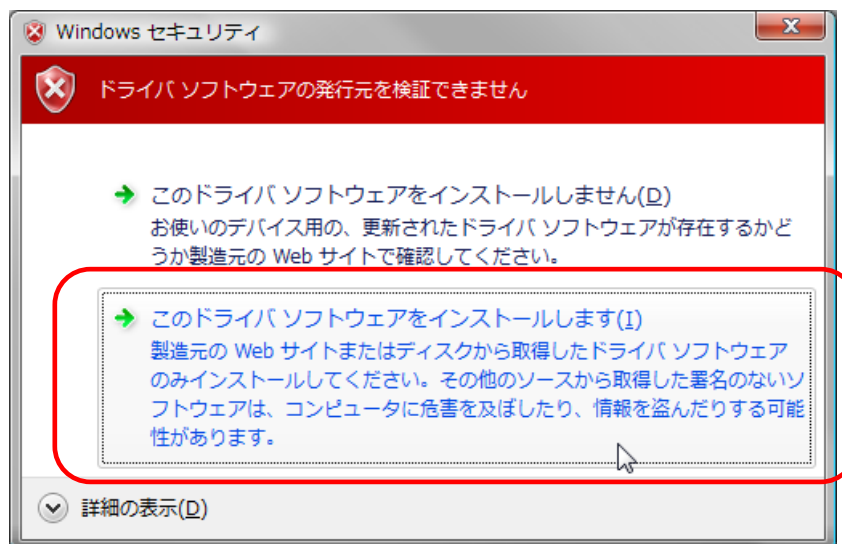


図 1.5 Windows セキュリティの確認

ドライバーソフトウェアがインストールされます。

「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」画面が表示されたら、「閉じる (C)」ボタンをクリックして下さい。ウィザードを終了します。

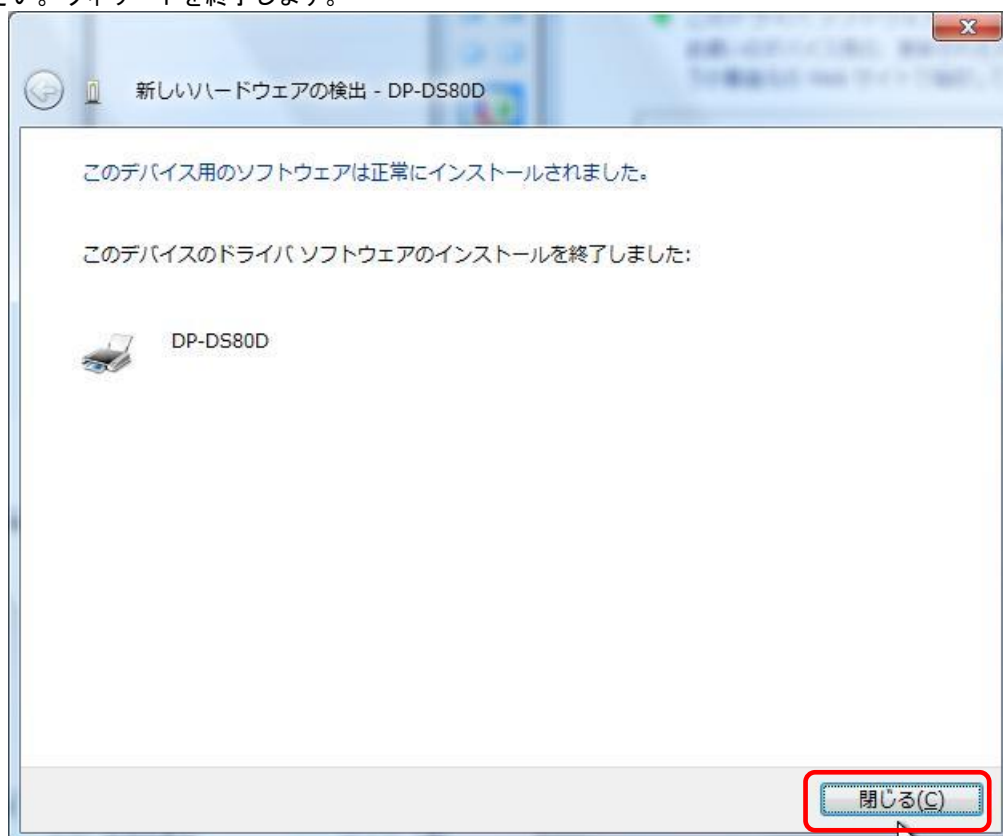


図 1.6 インストール完了画面

「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開いて下さい。コントロールパネルの「プリンター」をクリックして下さい。

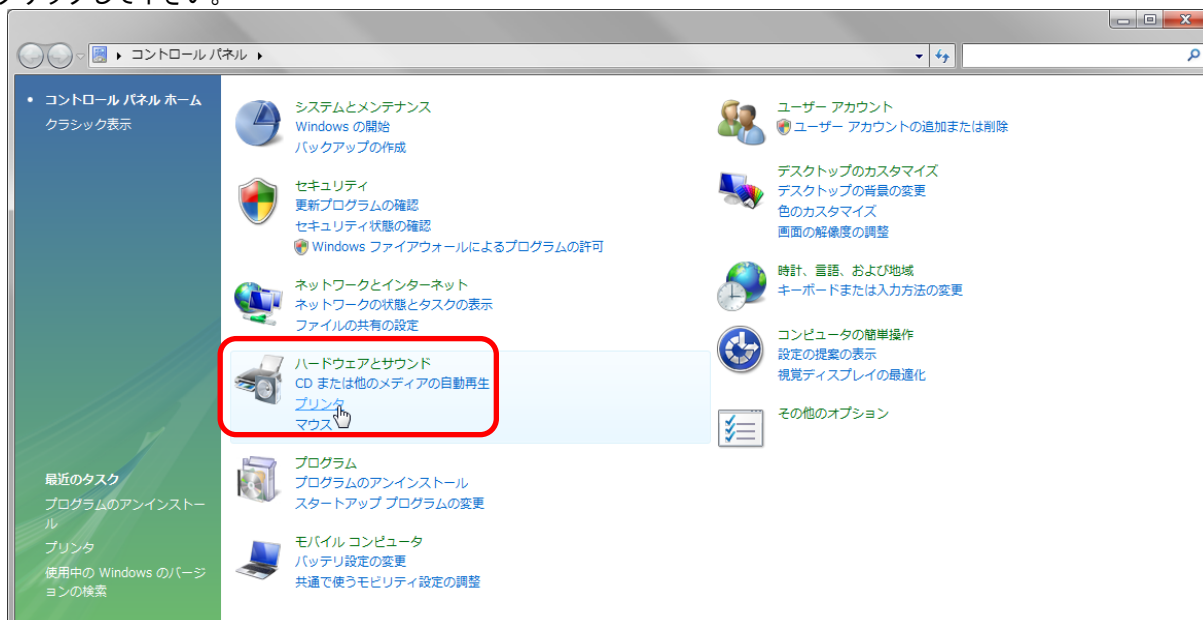


図 1.7 コントロールパネル

プリンターと FAX 画面にて DP-DS80D が表示されていることを確認して下さい。
これで DP-DS80D のプリンタードライバーのインストールは完了です。

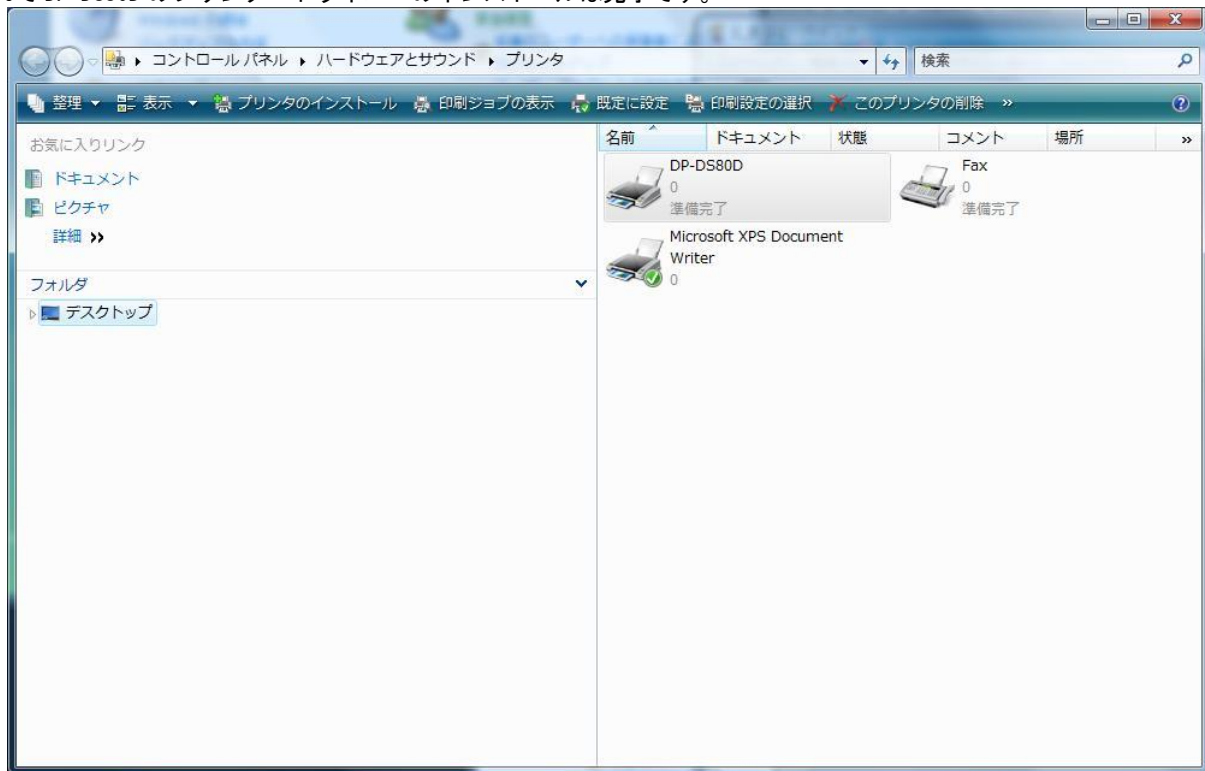


図 1.8 プリンターと FAX 画面

プリンタードライバーのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。

1.3 プリンターの追加からのインストール

「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開いて下さい。コントロールパネルの「プリンター」をクリックして下さい。

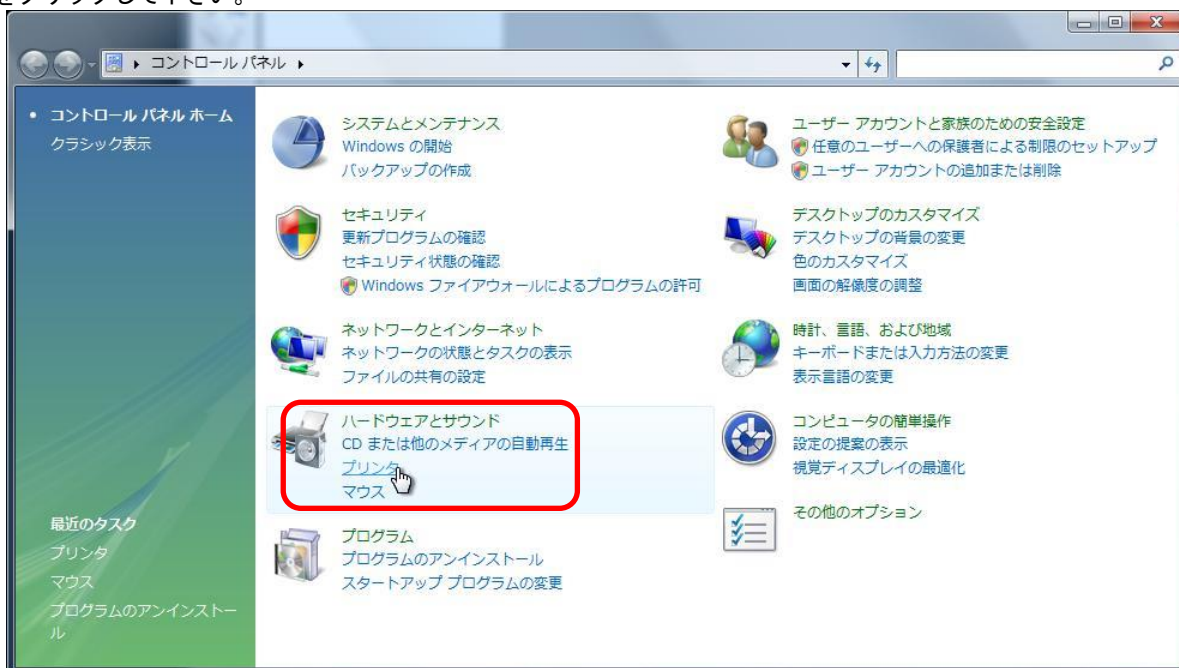


図 1.9 コントロールパネル

プリンターと FAX 画面の上部メニューバーの「プリンターのインストール」をクリックしてください。

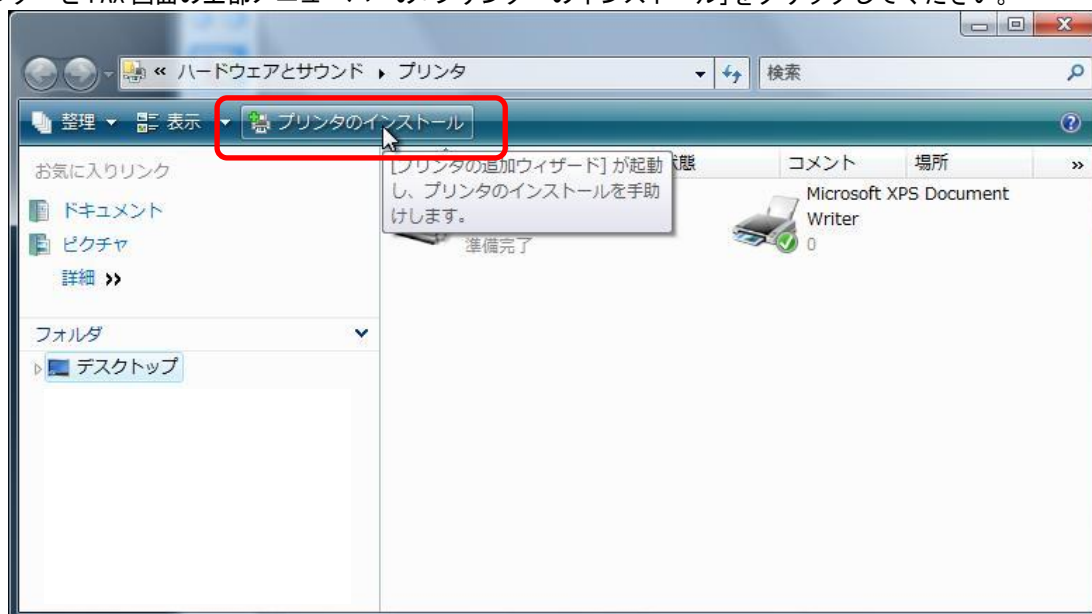


図 1.10 プリンターと FAX の画面

「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターの選択」画面が表示されたら「ローカルプリンターを追加します(L)」をクリックしてください。

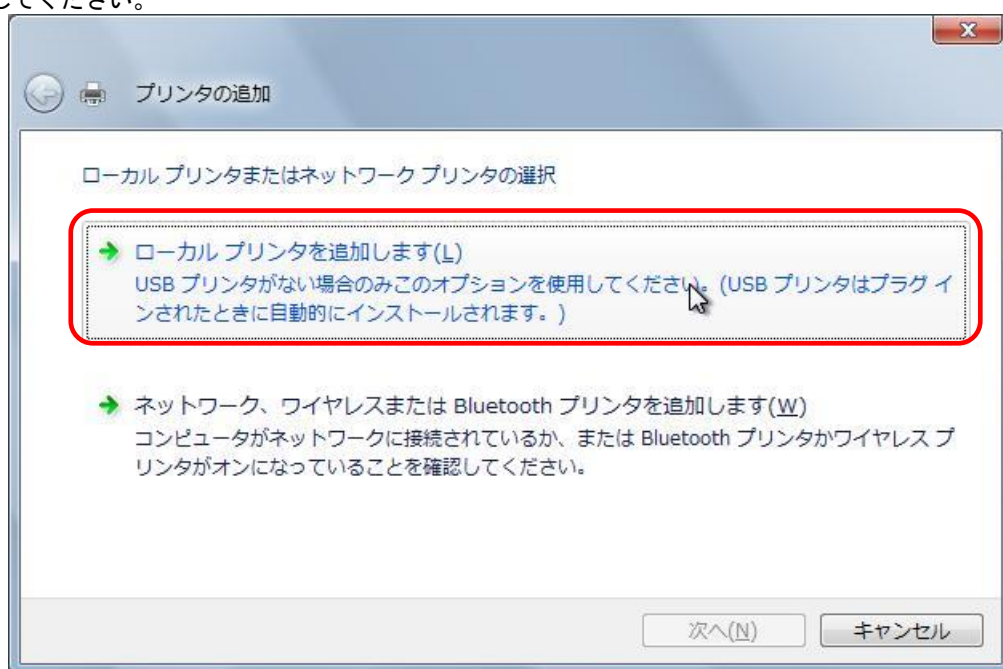


図 1.11 ローカルプリンターまたはネットワークプリンターの選択画面

「プリンターポートの選択」画面が表示されたら、「既存のポートを使用」を選んで、ドロップダウンリストからプリンターを接続している USB ポートを選択し（「USB001」など）、「次へ(N)」ボタンをクリックして下さい。

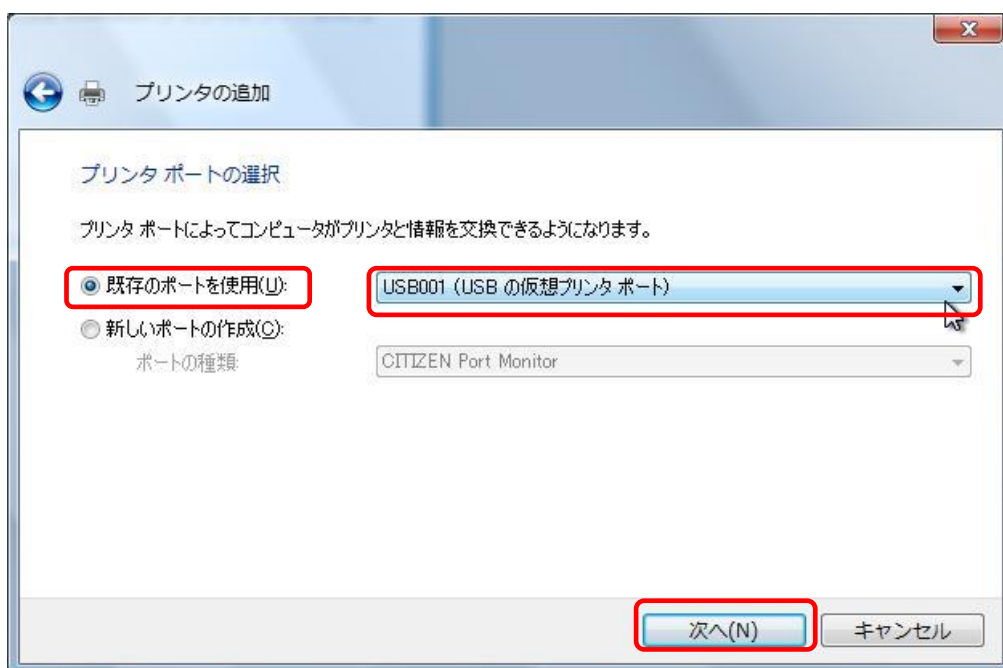


図 1.12 プリンターポートの選択画面

「プリンタードライバーのインストール」画面が表示されたら、「ディスク使用(H)」ボタンをクリックして下さい。

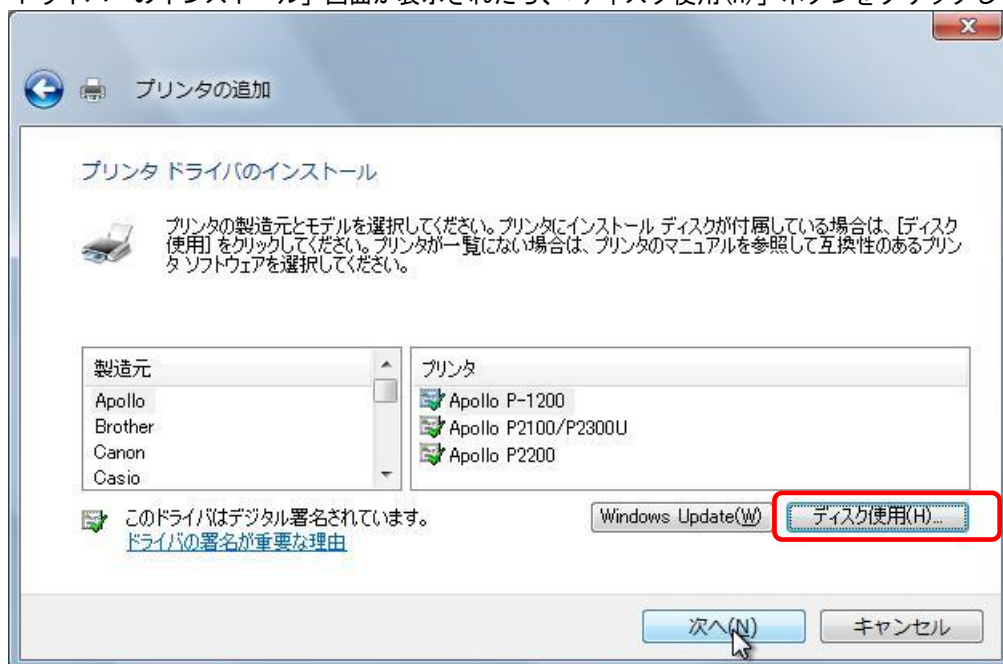


図 1.13 プリンタードライバーのインストール画面

「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたら、「参照(B)」でインストールディスクの場所を選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

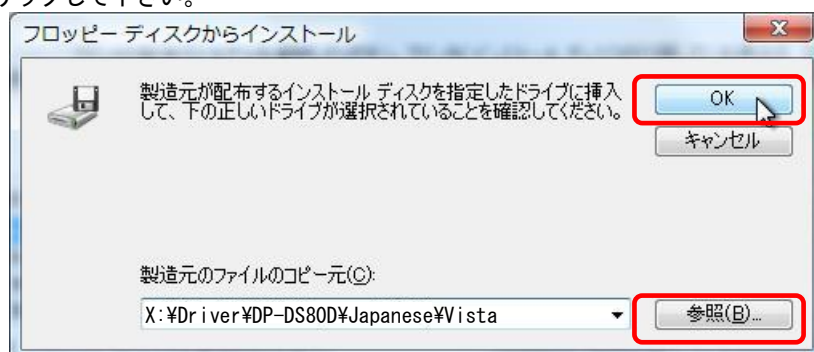


図 1.14 フロッピーディスクからインストール画面

「プリンタードライバーのインストール」画面にて「DP-DS80D」が表示されていることを確認した後、「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。

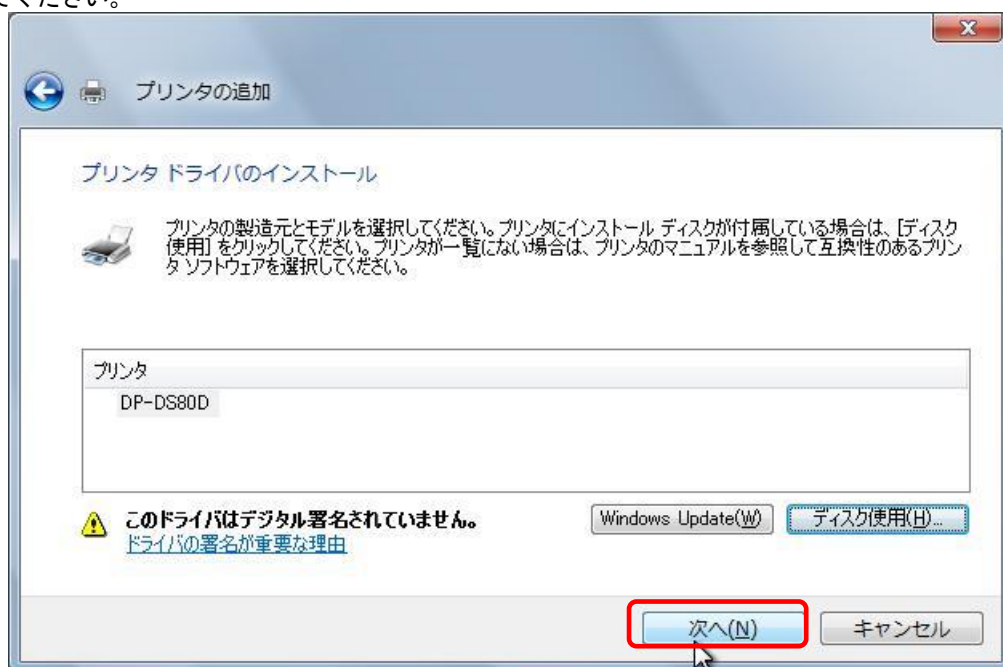


図 1.15 DP-DS80D プリンタードライバーのインストール画面

「プリンター名を入力してください。」画面が表示されたら、プリンター名を設定します。また、通常使うプリンターに設定する時は「通常使うプリンターに設定する」のチェックボックスを選択し、「次へ (N)」ボタンをクリックして下さい。

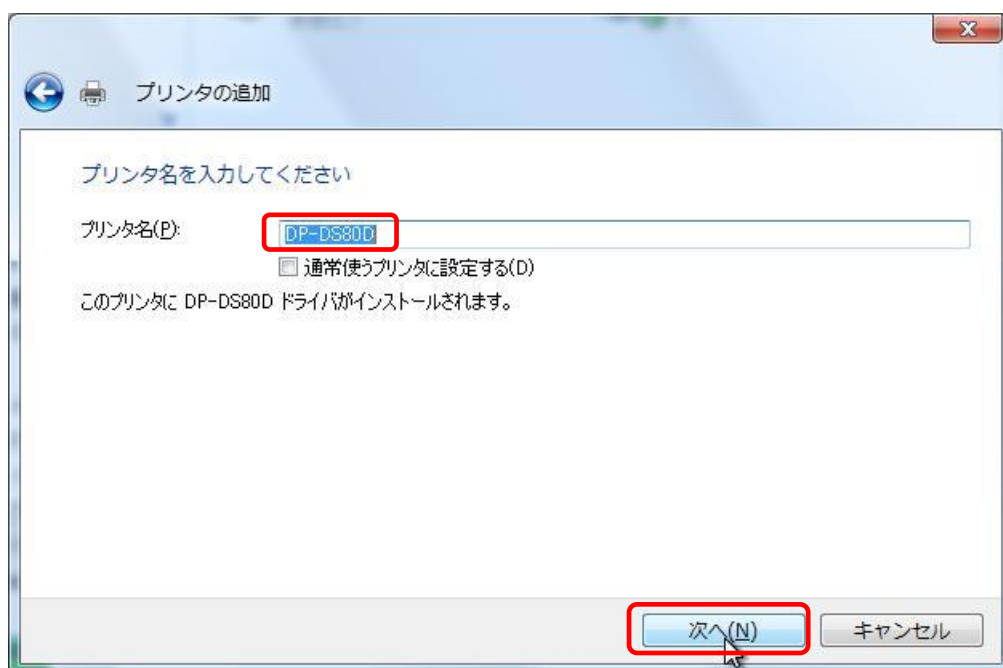


図 1.16 プリンター名の設定画面

注意) インストールが開始されますが途中、ユーザーアカウント制御で、「続行するにはあなたの許可が必要です。」と確認を求められますので、「続行」をクリックして下さい。

Windows セキュリティ確認の画面が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします (I)」をクリックして下さい。

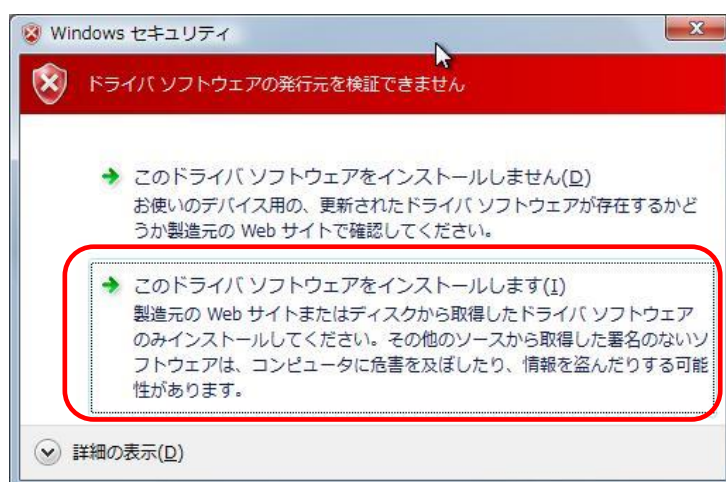


図 1.17 Windows セキュリティの確認

「DP-DS80D が正しく追加されました」画面が表示されたら、「完了 (F)」をクリックしてください。

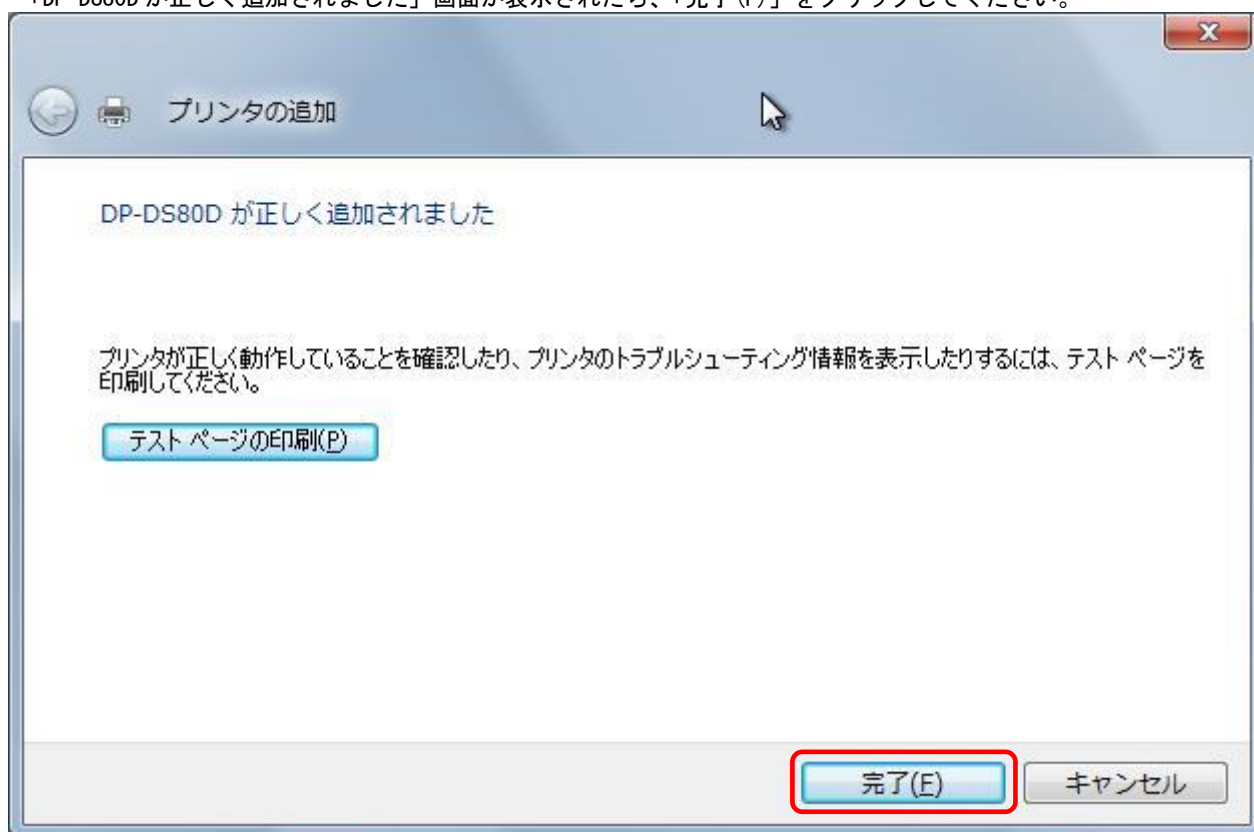


図 1.18 DP-DS80D が正しく追加されました画面

プリンターと FAX 画面にて DP-DS80D が表示されていることを確認して下さい。
これで DP-DS80D のプリンタードライバーのインストールは完了です。

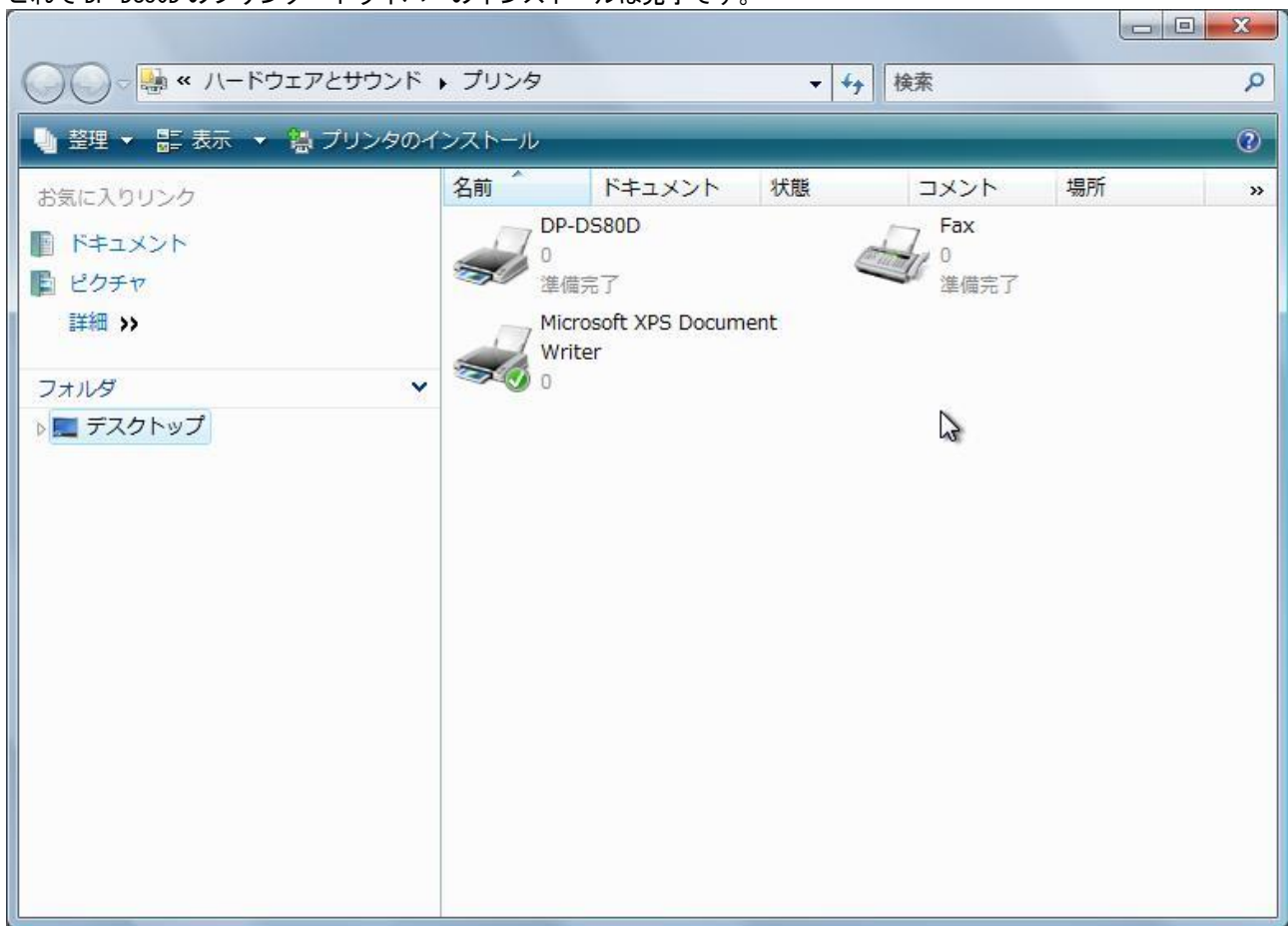


図 1.19 プリンターと FAX 画面

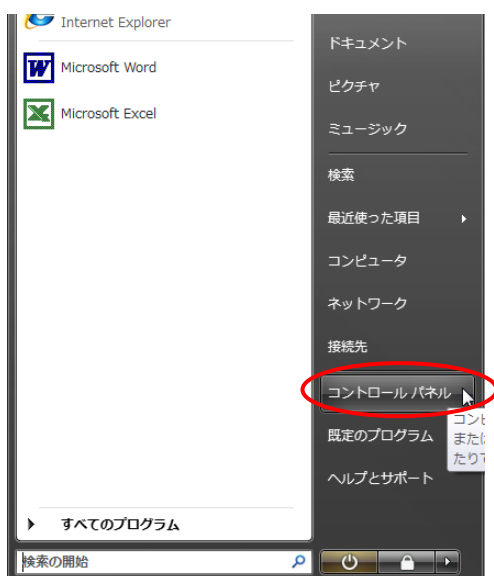
プリンタードライバーのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。

第2章 プロパティ

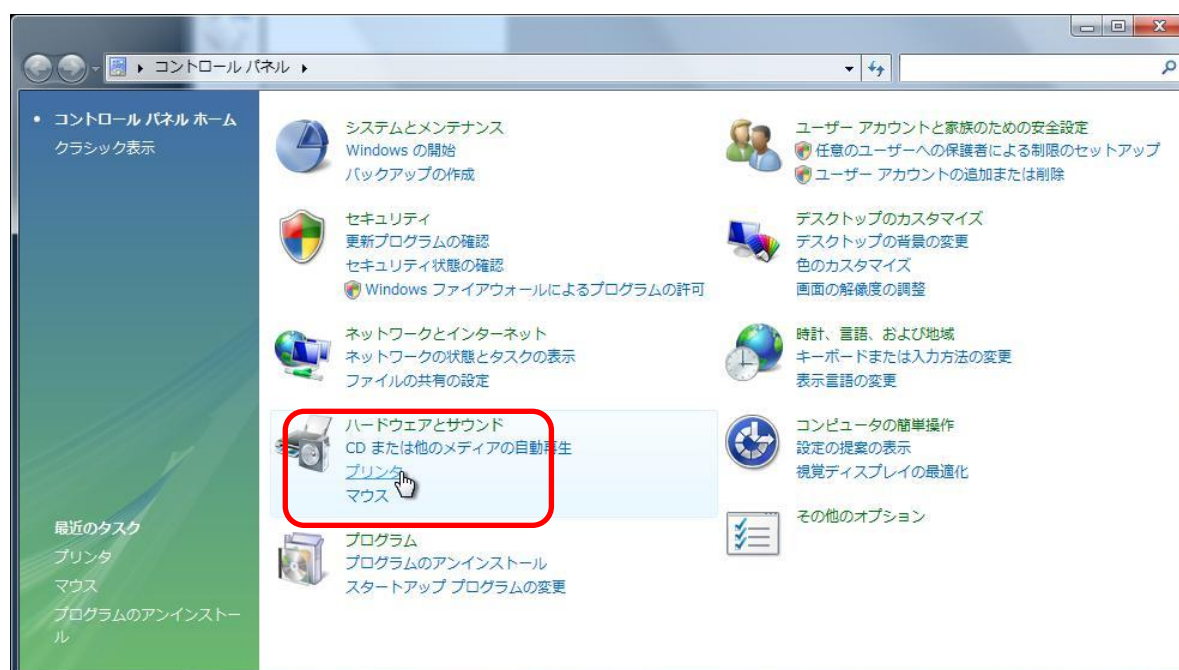
DP-DS80D ドライバーのプロパティより、各種プリンター設定ができます。操作する場合は内容を良く理解した上で使用して下さい。使用は管理者権限でログインして行ってください。ご使用のアプリケーションによっては、アプリケーション側の印刷設定からの操作が必要です。

2.1 プリンターのプロパティの起動

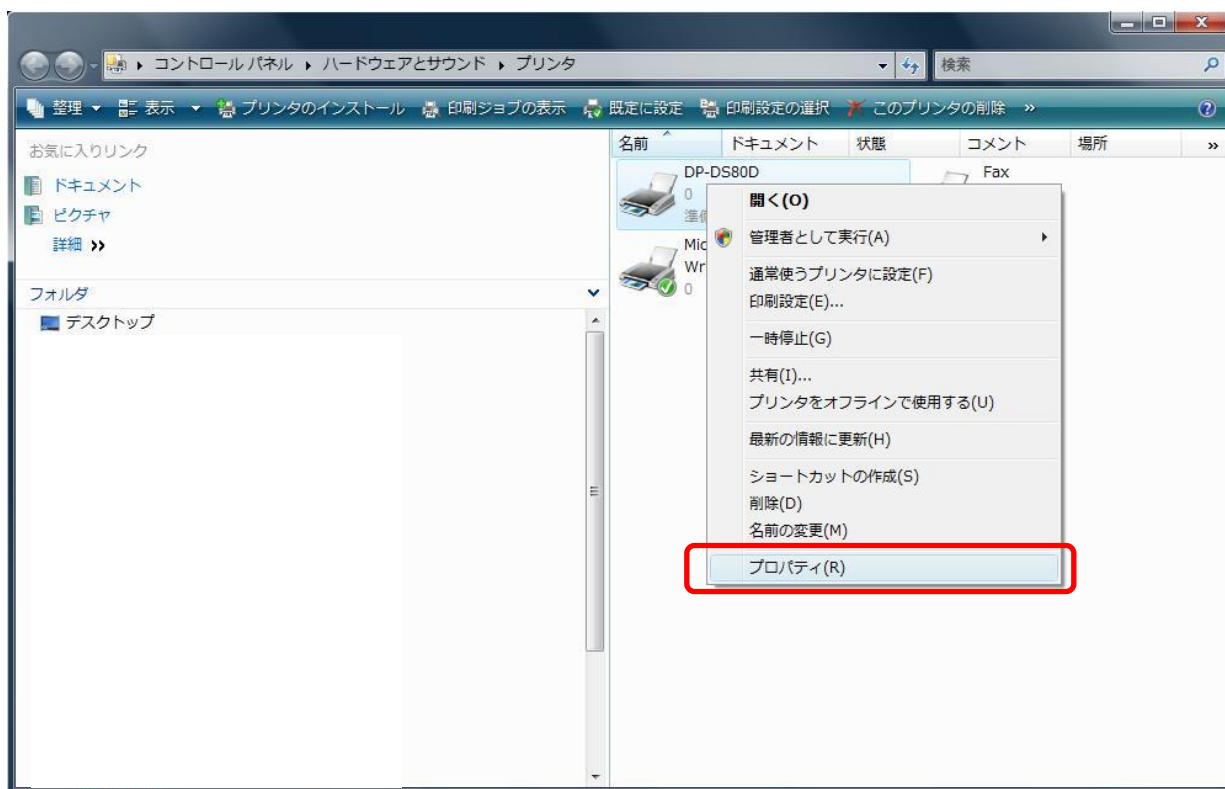
1. スタート⇒コントロールパネル⇒
コントロールパネルの起動



2. コントロールパネルからプリンターを選択
⇒プリンター画面を起動



3. DP-DS80D のアイコン上で右クリックをし、プルダウンメニューからプロ
パティを選択⇒プロパティ画面を起動



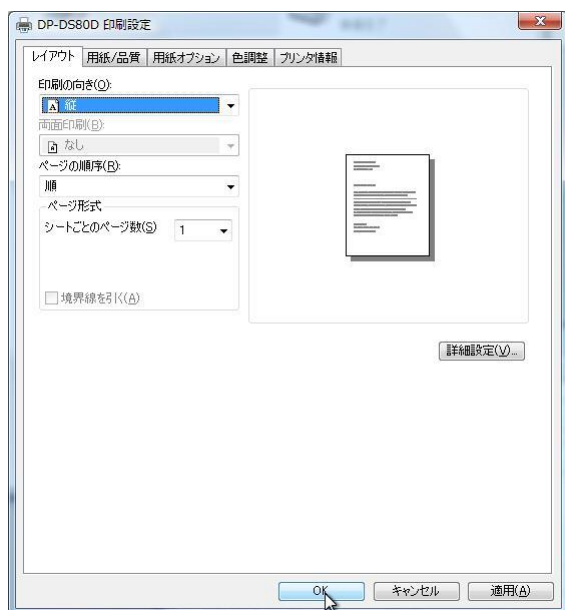
4. DP-DS80D のプロパティ画面が立ち上がります



2.2 印刷設定機能説明

プロパティ画面から印刷設定を選択すると、各種印刷設定が出来ます。

2.2.1 レイアウト



印刷の向き

印刷向きの縦、横指定をします。

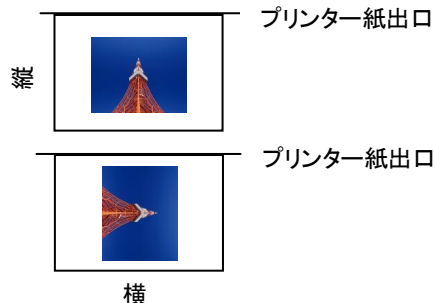
元画像の回転を行わなかった場合の出力イメージは右のようになります。



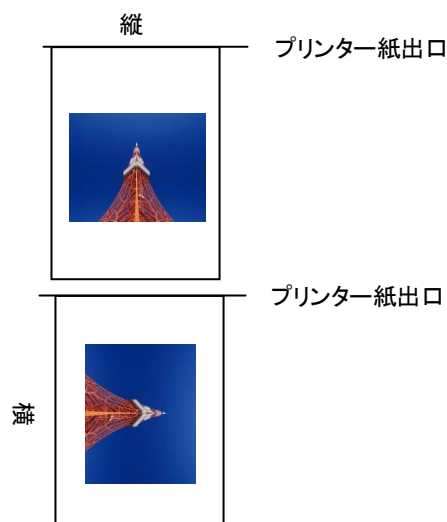
元画像の向き

印刷の向きによる出力イメージ

例) (8x5),(8x6)の場合



(8x10),(8x12)の場合



両面印刷

両面印刷のなし、長辺綴じ/短辺綴じ方向を指定します。2.2.3 用紙/品質タブの給紙方法で、カット紙（トレイ）が選択された場合、両面印刷の長辺綴じ/短辺綴じが指定可能です。

- 長辺綴じ 長辺綴じで両面印刷を行います。
- 短辺綴じ 短辺綴じで両面印刷を行います。

ページの順序

アプリケーションで、画像を複数枚印画させた場合の順序を指定します。

例) 印画順

順

No. 1



No. 2



No. 3



逆



シートごとのページ

指定分割サイズの印画をします。通常は 1 を指定して下さい。

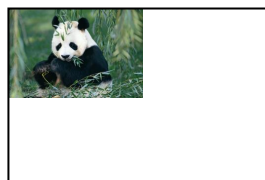
(1 以外を指定する場合は、印刷品質設定を 300x300dpi または 600x600dpi にしてご使用ください)

例) 分割サイズ

1 分割



4 分割



9 分割



2.2.2 詳細オプション

レイアウトの詳細設定 (V) を選択すると、詳細オプションにて各種設定が可能となります。

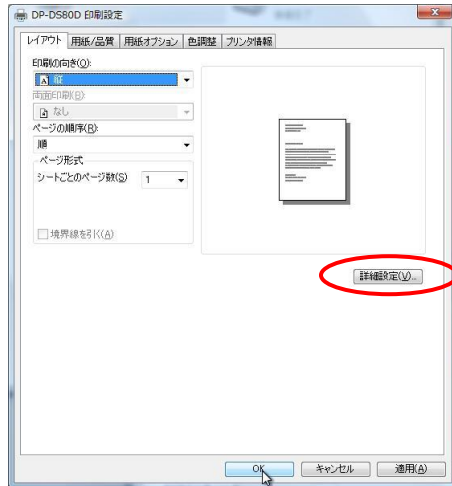


図 2.2.2.1 詳細設定



図 2.2.2.2 詳細オプションタブ

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。用紙サイズはプリンターに装着されているメディアサイズに合わせて下さい。用紙サイズの指定により多面割付が可能となります。詳細は 2-7 印刷方法を参照して下さい。

DP-DS80D では、2.2.3 給紙方法のロール紙／カット紙（トレイ）の選択により、指定できる用紙サイズが次表のように異なります。

○：指定可能

用紙サイズ	ロール紙	カット紙
(5x3.5)	○	
(5x7)	○	
(6x4)	○	
(6x4) x2	○	
(6x8)	○	
(6x9)	○	
(8x10)	○	○
(8x12)	○	○
(8x4)	○	○
(8x4) x2	○	○
(8x4) x3	○	○
(8x5)	○	○
(8x5) x2	○	○
(8x5) _ (8x4)	○	
(8x6)	○	○
(8x6) x2	○	○
(8x6) _ (8x4)	○	
(8x6) _ (8x5)	○	
(8x8)	○	○
(8x8) _ (8x4)	○	
A4Length	○	
(8x10.50)		○
(8x10.75)		○

部数

画像の発行枚数を指定出来ます。

印刷品質

解像度を指定します。

印刷品質	機能
300 x 300dpi	高速モードで印刷
300 x 600dpi	高画質モードで印刷 ※縦横で異なる解像度を設定できないアプリケーションでは 600x600dpi 設定でご使用ください
600 x 600dpi	高画質モードで印刷 (ドライバー内で 300x600dpi サイズに変換してプリンターへ送信します)

ICM の方法

ICM の方法	機能
ICM 無効	2.2.4 用紙オプションの“色調整なし”と同期しています。
ホストシステムによる ICM 処理	2.2.4 用紙オプションの“色調整 ICM”と同期しています。 ドライバーでカラーマネージメントを行います。
プリンターによる ICM 処理	この項目を選択した場合“ホストシステムによる ICM 処理”と同じになります。

ICM の目的

ICM を使用する際のレンダリングの方法を指定します。DP-DS80D の ICC プロファイルでは常に“写真”を指定して下さい。他の設定では使用しないで下さい。

詳細な印刷機能

常に“有効”として下さい。他の設定では使用しないで下さい。

シートごとのページレイアウト

シートごとのページ数設定を複数分割としたときの、画像のレイアウト方向を指定します。

ふちあり

用紙オプションのふちありと同期しています。

オーバーコート仕上げ

印画物表面のオーバーコート仕上げ方法を次の 2 種類から指定します。

オーバーコート仕上げ	機能
光沢	光沢タイプの印画物に仕上がります。
マット	つや消しタイプの印画物に仕上がります。

印刷リトライ

ご使用プリンターのファームウェアバージョンによっては「無効」のみの動作となります。
プリンターにエラーが発生したときのプリンターバッファ内の印画データを、エラー解除後に印刷するかしないかを設定します。

印刷リトライ	機能
無効	プリンターエラー時のプリンターバッファ内の印画データをクリアします。 エラー解除後、クリアされた印画データを再送信して下さい。 エラーリカバリー機能があるアプリケーションをご使用の際は、こちらを選択して下さい。
有効	プリンターエラー時のプリンターバッファ内の印画データを保持します。 エラー解除後、保持しているデータから印刷処理を再開します。 但し、電源を OFF した場合、データは保持されません。

印刷リトライに対応したバージョンのプリンターと未対応のバージョンのプリンターを交換して、同一の USB ポートに接続して使用する場合は、プリンター交換時にパソコンを再起動してください。

プリンターエラーの内容によっては、エラー解除にプリンターの電源再投入が必要となる場合があります。この場合は、印刷リトライの設定に関係なく、プリンターバッファ内の印画データはクリアされます。

エラー内容	リトライ印画「無効」設定時		リトライ印画「有効」設定時	
エラー発生面	ロール紙、カット紙表面	カット紙裏面	ロール紙、カット紙表面	カット紙裏面
ペーパーエンド	エラー解除後、印刷されなかった画像データは再送信して下さい。	-	エラー解除後、プリンターバッファ内に保持しているデータから印画処理を再開します。	-
リボンエンド		リトライ印画の設定に関係なくエラー解除後、プリンターバッファ内に保持しているデータから印画処理を再開します。		リトライ印画の設定に関係なくエラー解除後、プリンターバッファ内に保持しているデータから印画処理を再開します。
カバーオープン		エラー解除後、印刷されなかった画像データは表面から再送信して下さい。		裏面でエラー発生した場合、エラー解除後、裏面データを再印画します。ペーパージャムなど用紙の状態により正常な印画物が出力されなかった場合、表、裏面画像データを再送信して下さい。
ペーパージャム(*1)				
リボンエラー(*1)				
用紙設定ミス				
屑ボックスエラー				
データエラー	エラー解除にはプリンターの電源を一度 OFF する必要があるため、印画リトライ機能の設定に関係なくプリンターバッファ内の印画データはクリアされます。	エラー解除にはプリンターの電源を一度 OFF する必要があるため、印画リトライ機能の設定に関係なくプリンターバッファ内の印画データはクリアされます。	エラー解除にはプリンターの電源を一度 OFF にする必要があるため、印画リトライ機能が有効に設定されていても、プリンター電源 OFF により印画データはクリアされます。	エラー解除にはプリンターの電源を一度 OFF にする必要があるため、印画リトライ機能が有効に設定されていても、プリンター電源 OFF により印画データはクリアされます。
ヘッド電圧異常				
ヘッド位置エラー				
電源ファン停止				
カッターエラー				
ヘッド温度異常				
メディア温度異常				
リボンテンションエラー				
RFID モジュールエラー				
モーター温度異常				
システムエラー				

*1：エラー停止後、プリンターのユーザズマニュアルに従って、用紙またはリボンのエラー要因を取り除いてください。

2.2.3 用紙／品質

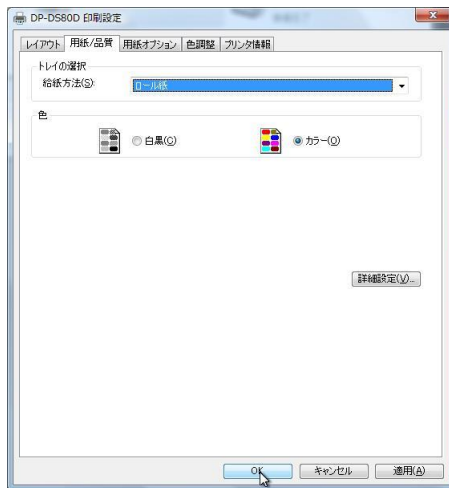


図 2.2.3 用紙／品質タブ

給紙方法 ロール紙又はカット紙（トレイ）を指定します。両面印刷はカット紙（トレイ）を選択した時のみ可能です。

2.2.2 詳細オプションの用紙サイズに於いて、ロール紙/カット紙（トレイ）どちらか一方でのみ指定できる用紙サイズが指定された場合、給紙方法は選択出来ません。

色 カラー固定として下さい。白黒では使用しないで下さい。

2.2.4 用紙オプション

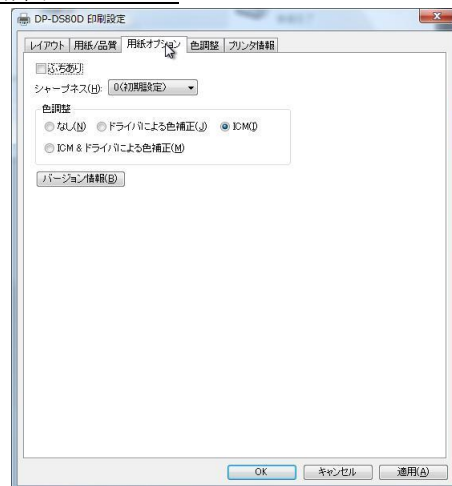


図 2.2.4.1 用紙オプションタブ

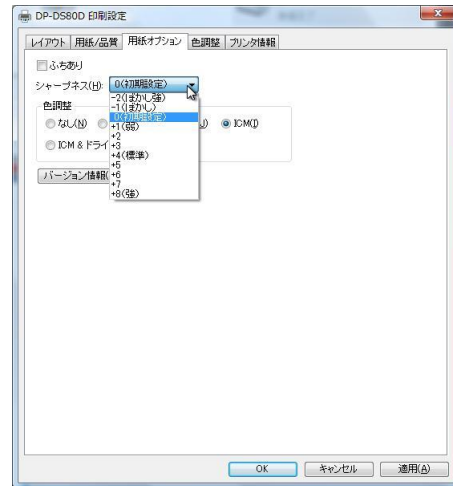


図 2.2.4.2 シャープネスの設定

ふちあり

印画のふちあり/なしを指定します（チェックがふちあり）。詳細設定のふちあり/なしと同期しています。

シャープネス

11 段階でシャープネス処理を行います（図 2）。0（初期設定）はシャープネス処理を行いません。マイナス（－）側はぼかし、プラス（＋）側はシャープネス処理を行います。

色調整

なし

詳細設定の ICM の方法と同期しています。この項目をチェックすると ICM 無効で、色調整タブも無効となりドライバーでの色調整は行いません。

ドライバーによる色補正

この項目をチェックすると ICM が無効となり、2.2.5 色調整が有効となります。ガンマ、ブライトネス、コントラスト、彩度の各項目の調整値が反映されます。

ICM

詳細設定の ICM の方法と同期しています（ホストシステムによる ICM 処理）。ここをチェックするとドライバーにてカラーマネージメントを行います。

ICM & ドライバーによる色補正

この項目をチェックすると ICM（カラーマネージメント）と 2.2.5 色調整が有効になります。

バージョン情報

ドライバーのバージョンを表示します。

2.2.5 色調整

用紙オプションのドライバーによる色補正 (2.2.4) をチェックすると、色調整タブの各種調整値が画像に反映されます。

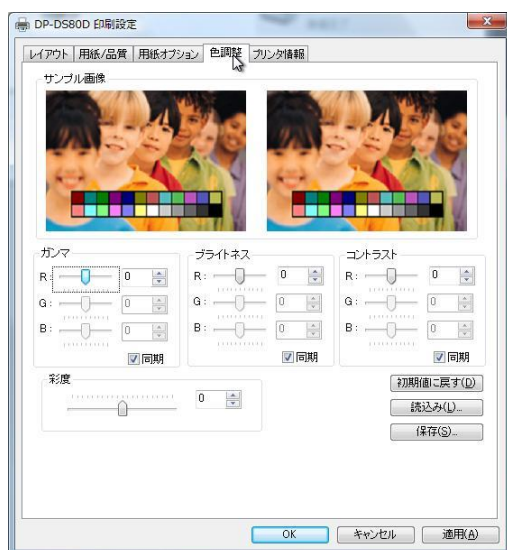


図 2.2.5 色調整タブ

色調整タブでの設定範囲は以下のようになります。

調整項目	調整値
ガンマ	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し、 γ 2.0 ~ 0.5) 画像の中間調部の濃度を調整します。ガンマの値が大きい程、中間調部が明るくなります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
ブライトネス	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し) 画像のブライトネスを調整します。値が大きい程、画像全体が明るくなります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
コントラスト	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像のコントラストを調整します。値が大きい程、明暗の差が広がります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
彩度	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像の彩度を調整します。

2.2.6 プリンター情報

プリンター情報タブを開くと、プリンターの状態を確認できます。

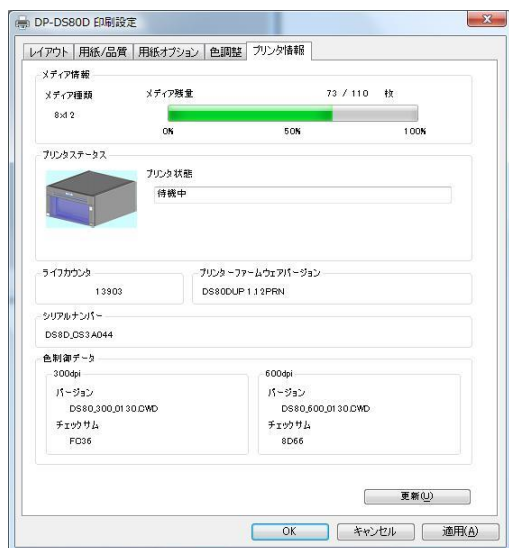


図 2.2.6 プリンター情報タブ

表示項目	内容
メディア種類	プリンターに装着されているリボンの種類が表示されます。
メディア残量	リボンの残り枚数が表示されます。
プリンターステータス	プリンターの状態が表示されます。表示される内容は下表の通りです。
ライフカウンター	プリンターのライフカウンターが表示されます。
プリンターファームウェアバージョン	プリンターのファームウェアバージョンが表示されます。
シリアルナンバー	プリンターのシリアルナンバーが表示されます。
色制御データ	色制御データ (300, 600dpi) のバージョン、チェックサムが表示されます

プリンターステータス	復帰方法
オフライン	プリンターとパソコンを接続し、電源を入れてください。
待機中	
印画中	
ヘッド冷却中	しばらくお待ちください。自動的に印画を再開します。
ドアオープン	プリンターを閉じてください。
ペーパーエンド	新しい用紙をセットしてください。
リボンエンド	新しいリボンをセットしてください。
紙詰まり	用紙を取り除いて正しくセットし直してください。
リボンエラー	リボンを正しくセットし直してください。
用紙サイズ設定エラー	用紙サイズの設定とリボンサイズを確認してください。
システムエラー	プリンター、パソコンを再起動してください。 再起動後も復帰しない場合はサービスセンターにご連絡ください
ユニット紙詰まり 給紙部	プリンターを再起動してください。用紙が自動廃棄されます。 詳細は両面ユニットのユーザーズマニュアルを参照して下さい。
ユニット紙詰まり 搬送部	
ユニット紙詰まり シェル部	
ユニット紙詰まり 排出部	
ユニットトレイアウト	カット紙トレイをセットしてください。
ユニットカバーアウト	ユニットのカバーを閉じて下さい
ユニットハードウェアエラー	プリンター、パソコンを再起動してください。 再起動後も復帰しない場合はサービスセンターにご連絡ください

2.3 各設定項目の初期値

各設定の初期値（インストール時の設定）を示します。設定変更を行いプリンタードライバーが正常に動作しなくなったときには、次に示す初期値に戻してください。

注) OS のサービスパックや使用環境によっては、インストール時の初期値が下表と異なる場合があります。

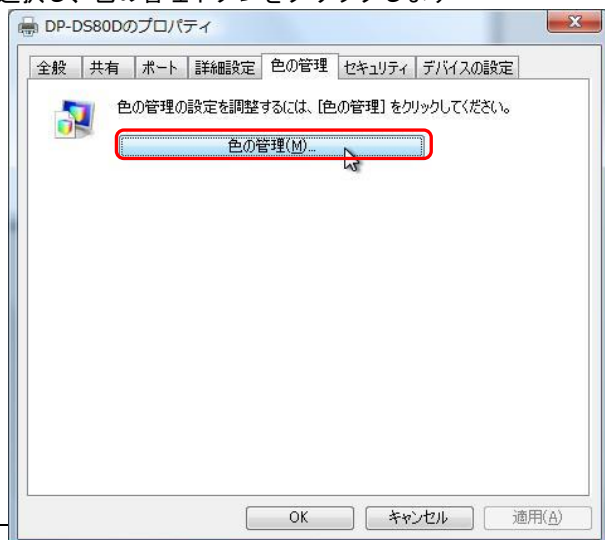
タブ	設定項目			設定値	
レイアウト	印刷の向き			縦	
	両面印刷			なし	
	ページの順序			順	
	シートごとのページ			1	
用紙/品質	給紙方法			ロール紙	
	色			カラー	
用紙オプション	ふちあり			チェックなし (ふちなし)	
	シャープネス			0 (初期設定)	
	色調整			ICM	
色調整	ガンマ			0	
	ブライトネス			0	
	コントラスト			0	
	彩度			0	
詳細設定 (レイアウトタブの「詳細設定」ボタンをクリック)	用紙/出力	用紙サイズ		8x10	
		部数		1	
	グラフィックス	印刷品質		300×300dpi	
		イメージの色管理	ICMの方法		ホストシステムによる ICM処理
			ICMの目的		写真
	ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能			有効
		シートごとのページレイアウト			左上から右方向
		プリンターの機能	ふちあり		なし
			オーバーコート仕上げ		光沢
	印刷リトライ		無効		

表 2.3 印刷設定初期値

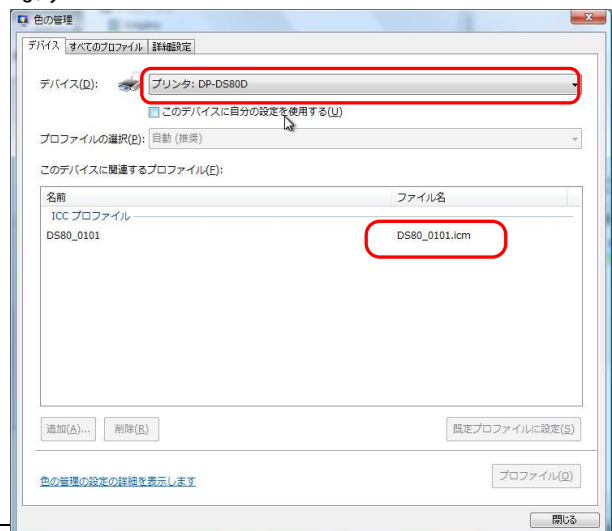
2.4 色の管理

「色の管理」ではカラープロファイルを指定します。インストーラはデフォルトで「DS80_xxxx」を関連付けます。xxxx は 4 桁の数字でバージョンを表します。

手順1 プリンターのプロパティから色の管理タブを選択し、色の管理ボタンをクリックします



手順2 デバイスからプリンター: DP-DS80D を選択します



2.5 画像サイズ

ドライバーの用紙サイズ指定で生成される画像サイズ及びドット数は次のようになります。

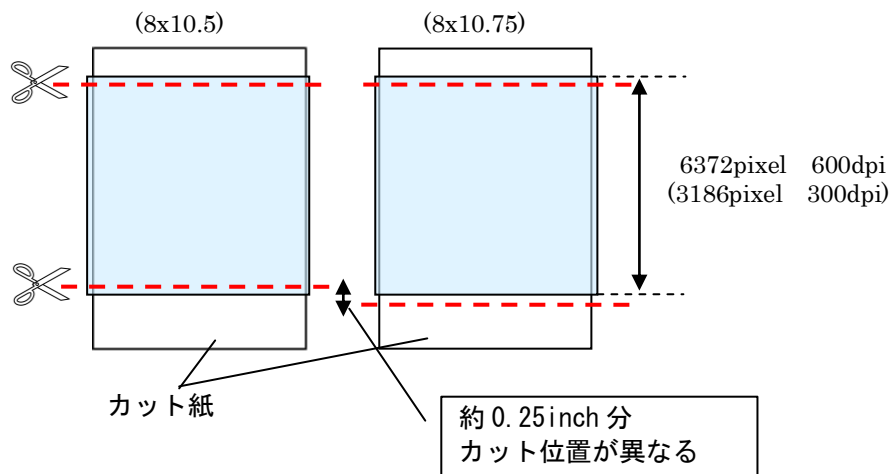
機種	用紙サイズ	サイズ (インチ)	出力サイズ (mm)	300 x 300 DPI 画像ドット数	300 x 600 DPI 画像ドット数
DP-DS80D	(5x3.5) ※1	3.5" x 5"	92.1 x 131.1	1088 x 1548	2176 x 1548
	(6x4) ※1	4" x 6"	105.0 x 156.1	1240 x 1844	2480 x 1844
	(5x7) ※1	5" x 7"	131.1 x 181.0	1548 x 2138	1548 x 4276
	(6x8) ※1	6" x 8"	156.1 x 206.2	1844 x 2436	1844 x 4872
	(6x9) ※1	6" x 9"	156.1 x 232.0	1844 x 2740	1844 x 5480
	(8x4)	8" x 4"	207.3 x 104.6	2448 x 1236	2448 x 2472
	(8x5)	8" x 5"	207.3 x 130.0	2448 x 1536	2448 x 3072
	(8x6)	8" x 6"	207.3 x 155.4	2448 x 1836	2448 x 3672
	(8x8)	8" x 8"	207.3 x 206.0	2448 x 2436	2448 x 4872
	(8x10)	8" x 10"	207.3 x 257.0	2448 x 3036	2448 x 6072
	(8x10.50) ※2	8" x 10.5"	207.3 x 269.7	2448 x 3186	2448 x 6372
	(8x10.75) ※2	8" x 10.75"	207.3 x 269.7	2448 x 3186	2448 x 6372
	A4 Length ※1	8" x 11.7"	207.3 x 297.0	2448 x 3544	2448 x 7088
	(8x12)	8" x 12"	207.3 x 307.8	2448 x 3636	2448 x 7272

※1 ロール紙のみ

DP-DS80D ロール紙使用時は幅 8inch より狭い用紙サイズ（出力サイズ）を指定出来ますが、使用するメディアは DP-DS80D 専用の 8inch 幅となります。

※2 カット紙のみ


















(8x10.5)、(8x10.75) の画像ドット数は同じです。出力される印画物が次のように異なります。



2.6 印刷の向き

ドライバーの設定（印刷の向き）により、アプリケーションが生成する画像イメージと印刷物（出力方向）の関係は次表のようになります。生成画像は、アプリケーションが元画像の回転を行わず、2.5 画像サイズに示すサイズ内に収まるよう拡大縮小を行なった場合のイメージです。

◆片面印刷を行う場合、ドライバーの設定による、アプリケーション生成画像と印刷物の関係。

元画像	ドライバーの設定				
	印刷向き	用紙サイズ (8x4)、(8x5)、(8x6)		(8x10)、(8x12)	
		アプリケーション 生成画像	印刷物 (出力方向↓)	アプリケーション 生成画像	印刷物 (出力方向↓)
	縦				
	横				
	縦				
	横				

両面印刷を行う場合、ドライバーの設定（用紙サイズ、印刷の向き、両面印刷の綴じ方向）により、アプリケーションが生成する画像とプリンター印刷物（表、裏面の出力方向）の関係は次頁のようになります

◆両面印刷を行う場合、ドライバーの設定による、アプリケーション生成画像と印刷物の関係。(—— は綴じ方向)

元画像			ドライバーの設定											
画像 向き			用紙サイズ (8x4),(8x5) <多面割付含む>						用紙サイズ (8x10),(8x10.5),(8x10.75),(8x12)					
	表	裏	印刷 向き	アプリケーション 生成画像		綴じ 方向	印刷物 (出力方向↓)		印刷 向き	アプリケーション 生成画像		綴じ 方向	印刷物 (出力方向↓)	
				表	裏		表	裏		表	裏		表	裏
縦			縦			長辺			縦			長辺		
						短辺						短辺		
						長辺						長辺		
						短辺						短辺		
			横			長辺			横			長辺		
						短辺						短辺		
横			縦			長辺			縦			長辺		
						短辺						短辺		
						長辺						長辺		
						短辺						短辺		
			横			長辺			横			長辺		
						短辺						短辺		

2.7 印刷方法

2.7.1 多面割付

プリンタードライバーの用紙指定で多面割付指定が可能となります。画像サイズは次のようになります。

割付指定

割付指定	ドライバー用紙設定	画像サイズ (mm)	備考
ロール紙	(8x4) x 2	(207.3x104.6) x 2	
	(8x5) x 2	(207.3x130.0) x 2	
	(8x6) x 2	(207.3x155.4) x 2	
	(8x5) _ (8x4)	(207.3x130.0) x (207.3x104.6)	
	(8x6) _ (8x4)	(207.3x155.4) x (207.3x104.6)	
	(8x6) _ (8x5)	(207.3x155.4) x (207.3x130.0)	メディアサイズ 8x12 のみ
	(8x8) _ (8x4)	(207.3x206.2) x (207.3x104.6)	メディアサイズ 8x12 のみ
	(8x4) x 3	(207.3x104.6) x 3	メディアサイズ 8x12 のみ
カット紙	(8x4) x 2	(207.3x104.6) x 2	
	(8x5) x 2	(207.3x130.0) x 2	
	(8x6) x 2	(207.3x155.4) x 2	メディアサイズ 8x12 のみ
	(8x4) x 3	(207.3x104.6) x 3	メディアサイズ 8x12 のみ

多面割付は以下の条件で動作します。

1. プリンタードライバーの用紙サイズ指定を上記の用紙サイズに指定。
2. アプリケーションから複数の画像を送信。

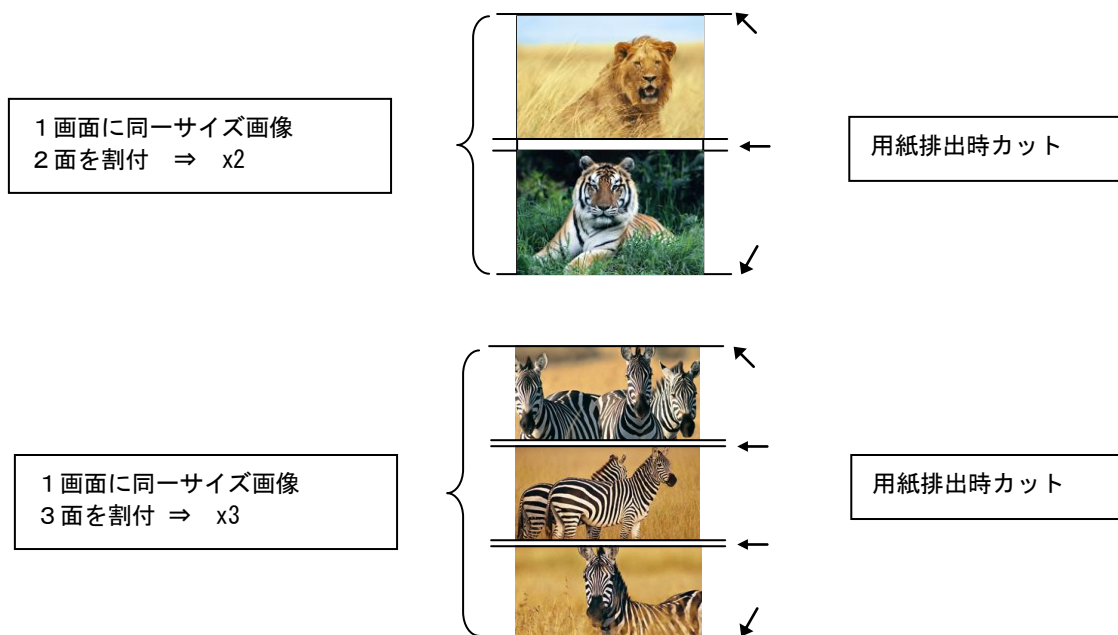
注) 多面割付は印刷のジョブ単位で行うため、1ジョブ内に複数のページが有る場合に動作します。

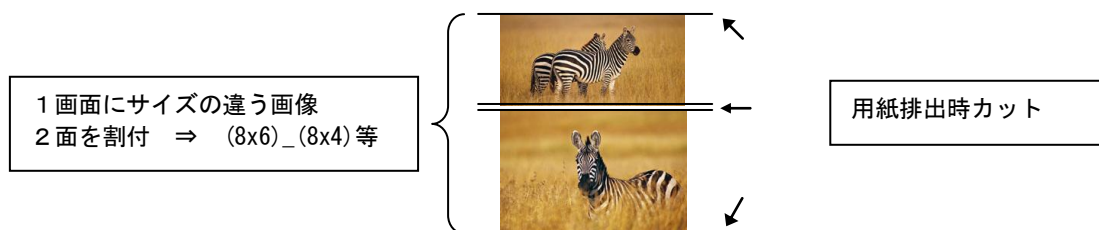
同一画像を割付けたい場合は枚数設定分画像を送信して下さい。

プリンターの動作は1度に2又は3画面分行われ、用紙排出時にカットを行います。

<多面割付のパターン>

多面割付のパターンには、次のような組み合わせがあります。





(カット紙使用時は1画面にサイズの違う画像は割付出来ません。)

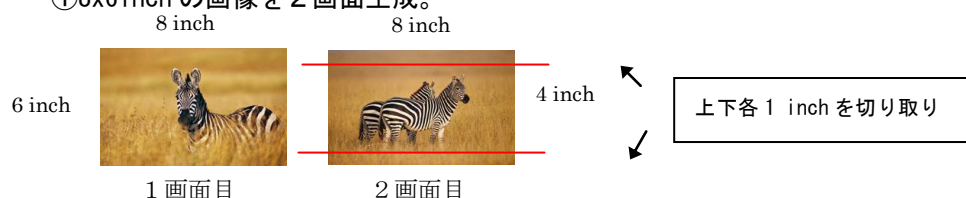
1画面にサイズの違う画像2面を割付ける場合の注意点

1画面にサイズの違う画像を2面割付ける場合、画像生成時に2画面目の上下が切り取られます。元画像を作成の際は次の内容に注意して下さい。

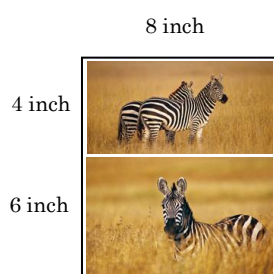
例) (8x6)_(8x4)の割付指定をした場合。

ドライバーは次の①、②の手順で、割付け画像を生成します。

①8x6inchの画像を2画面生成。

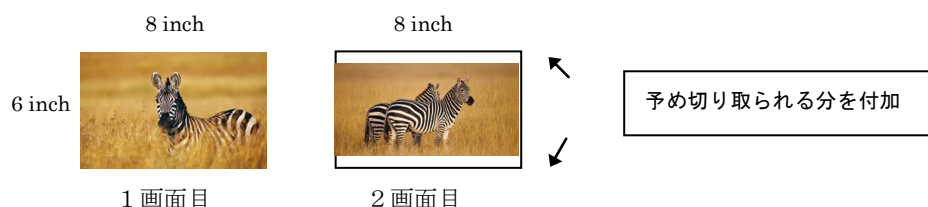


②ドライバーは1画面(8x10)にサイズの違う①の画像2面を割付けて、プリンターへ出力。



例) 元画像の作成例

ドライバーへ出力する元画像は、1画面目と2画面目は同一サイズで作成した上、2画面目に関しては画像が切り取られることを考慮して作成して下さい。



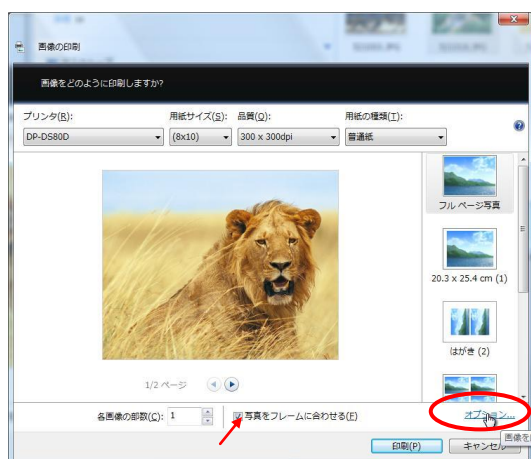
2.7.2 多面割付アプリケーション使用例

Windows エクスプローラでの使用例です。

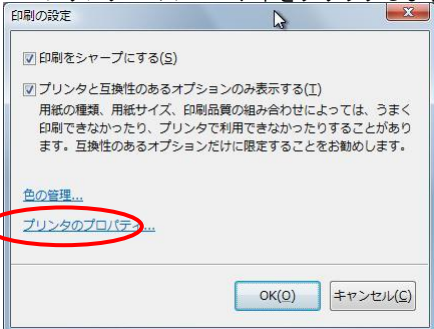
手順 1. エクスプローラで画像を 2 画面以上選択します。
⇒印刷をクリックします。



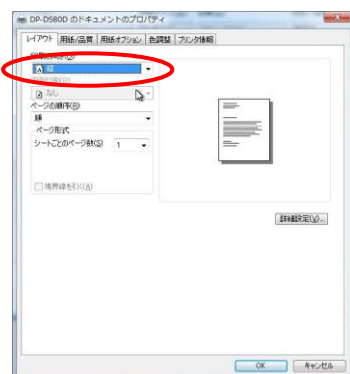
手順 2. 写真をフレームに合わせるをチェックし、オプションをクリックします。



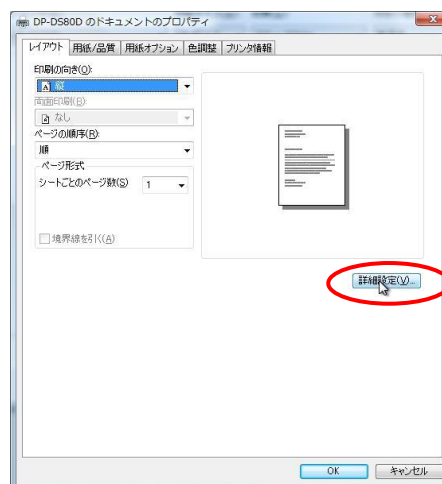
手順 3. プリンターのプロパティをクリックします。



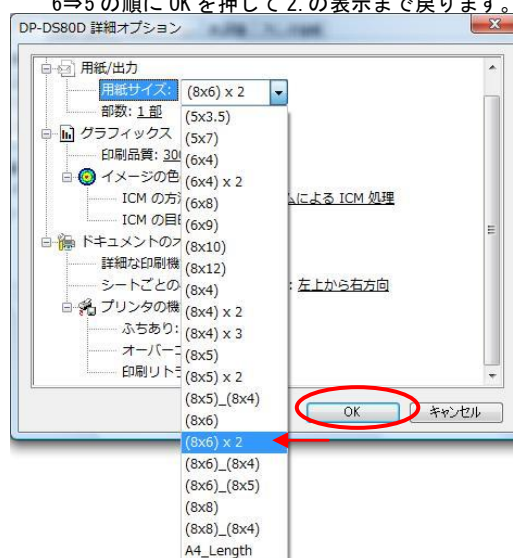
手順 4. 印刷の向きを縦に設定します。



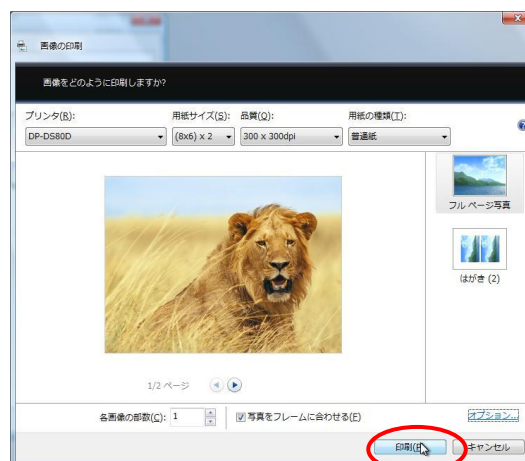
手順 5. 詳細設定ボタンをクリックします。



手順 6. 用紙サイズを多面割付けの設定にします。
6⇒5 の順に OK を押して 2. の表示まで戻ります。



手順 7. 印刷ボタンをクリックします。

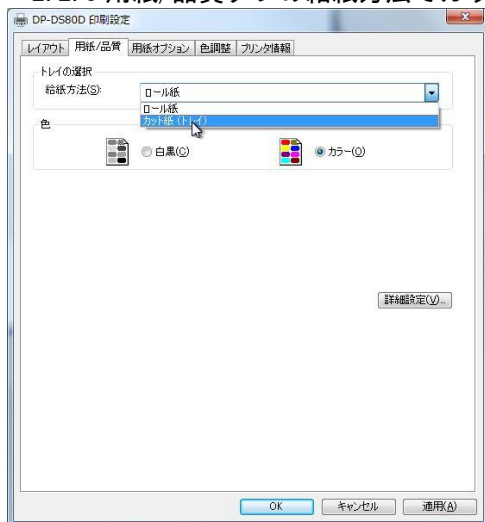


2.7.3 両面印刷

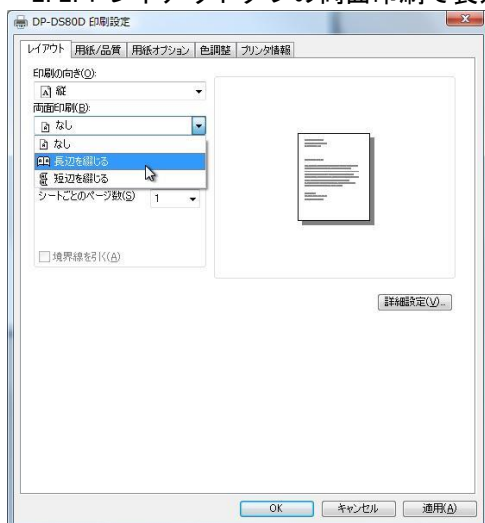
DP-DS80D でカット紙を選択した場合、両面印刷が可能です。

両面印刷は次の条件で動作します。

- 2.2.3 用紙/品質タブの給紙方法でカット紙（トレイ）を選択する。



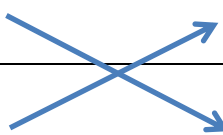
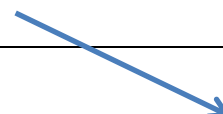

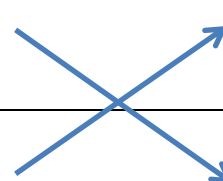
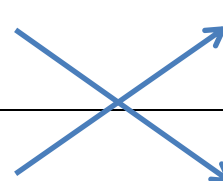
- 2.2.1 Layout tab of double-sided printing with long edge binding or short edge binding.



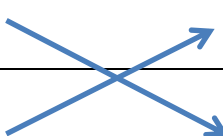
両面印刷は印刷のジョブ単位で行うため、1ジョブ内に2画像（表、裏両面）以上が有る場合に動作します。1ジョブ内の画像が奇数の時、最終ページの裏側は白画像を出力します。印刷の方法は2.7.2 多面割付アプリケーション使用例と同じです。

両面印刷で多面割付を行う場合の注意点

両面印刷で多面割付を行う場合、次のように画像が割付られます。送信する画像に端数が生じた場合、ドライバーは空白データを画面に割付ます。プリンターは空白データを白画像として出力します。

8x4x2 8x5x2 8x6x2	偶数枚	画像 1	1 ジョブで 画像送信	画像 1	表面データ 1 面に割付
		画像 2		画像 3	
		画像 3		画像 2	裏面データ 1 面に割付
		画像 4		画像 4	
	奇数枚 (端数頁 1 枚)	画像 5		画像 5	表面データ 1 面に割付
				空白	
				空白	裏面データは 空白
				空白	
	偶数枚 (端数頁 2 枚)	画像 5		画像 5	表面データ 1 面に割付
		画像 6		空白	
				画像 6	裏面データ 1 面に割付
				空白	
	奇数枚 (端数頁 3 枚)	画像 5		画像 5	表面データ 1 面に割付
		画像 6		画像 7	
		画像 7		画像 6	裏面データ 1 面に割付
				空白	

前述のように端数頁 1, 2 枚が生じた時、プリンターから白画像を出力させたくない場合、以下のようにアプリケーションから多面割付以外の用紙サイズに切り替えをし、別ジョブで画像を送信して下さい。

8x4x2 8x5x2 8x6x2	偶数枚	<div>画像 1</div> <div>画像 2</div>	<div>1 ジョブで 画像送信</div> 	<div>画像 1</div> <div>画像 3</div>	<div>表面データ 1 面に割付</div>
		<div>画像 3</div> <div>画像 4</div>		<div>画像 2</div> <div>画像 4</div>	<div>裏面データ 1 面に割付</div>
用紙サイ ズの切り 替え 8x4 8x5 8x6	奇数枚 (端数頁 1 枚)	<div>画像 5</div>	<div>別ジョブで 画像送信</div>	<div>画像 5</div> <div>空白</div>	<div>表面にデータ 割付</div> <div>裏面データは 空白</div>
	偶数枚 (端数頁 2 枚)	<div>画像 5</div> <div>画像 6</div>	<div>別ジョブで 画像送信</div>	<div>画像 5</div> <div>画像 6</div>	<div>表面にデータ 割付</div> <div>裏面にデータ 割付</div>

第3章 ドライバー更新の方法

インストール時と同様に管理者権限でログインして操作を行って下さい。

1. ドライバーの削除

- ① プリンタードライバーの削除を行う前に、すべてのアプリケーションを終了して下さい。また、削除対象プリンターのアイコンをダブルクリックし、キューにドキュメントが無いことを確認した後、ドライバーの削除を開始して下さい。

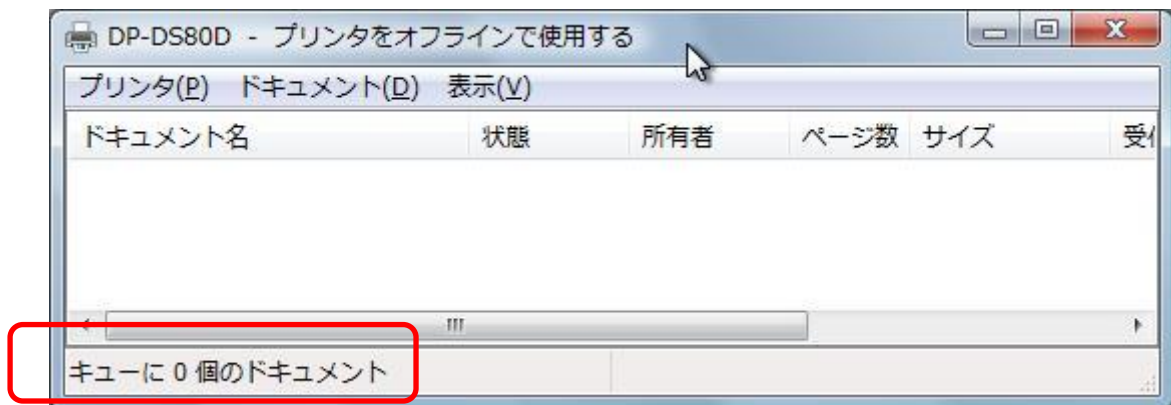


図 3.1.1 印刷キューにドキュメントが無い事の確認

- ②「スタート」－「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルの「プリンター」をクリックして下さい。プリンターと FAX 画面より、DP-DS80D プリンターを選択し、右クリックで、プルダウンメニューを表示し、「削除」をクリックして下さい。

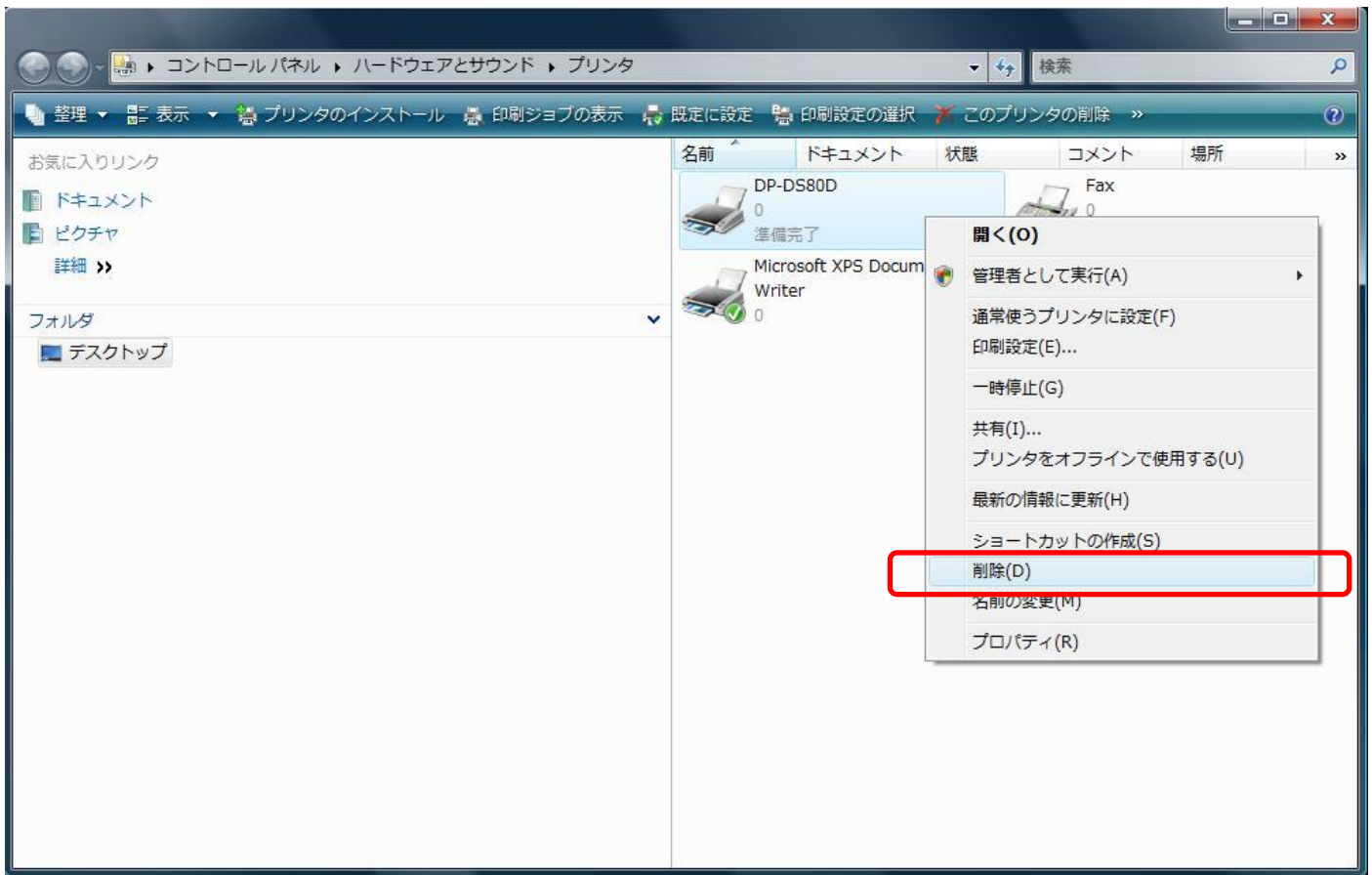


図 3.1.2 プリンターと FAX 画面で DP-DS80D を選択し右クリックした画面

- ③プリンター削除確認画面が表示されたら、「はい (Y)」をクリックして下さい。

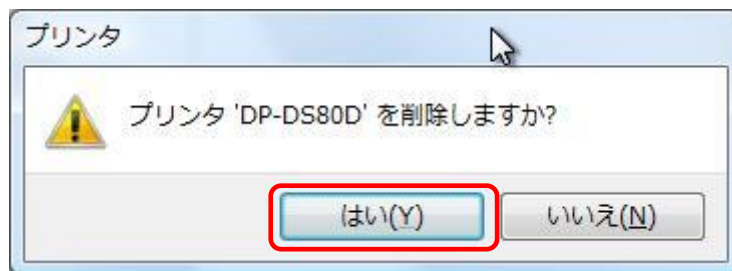


図 3.1.3 プリンター削除確認画面

- ④DP-DS80D プリンターが削除された後、アイコンがない部分で右クリックし、プルダウンメニューを表示して下さい。プルダウンメニューの「管理者として実行」－「サーバーのプロパティ」をクリックして下さい。

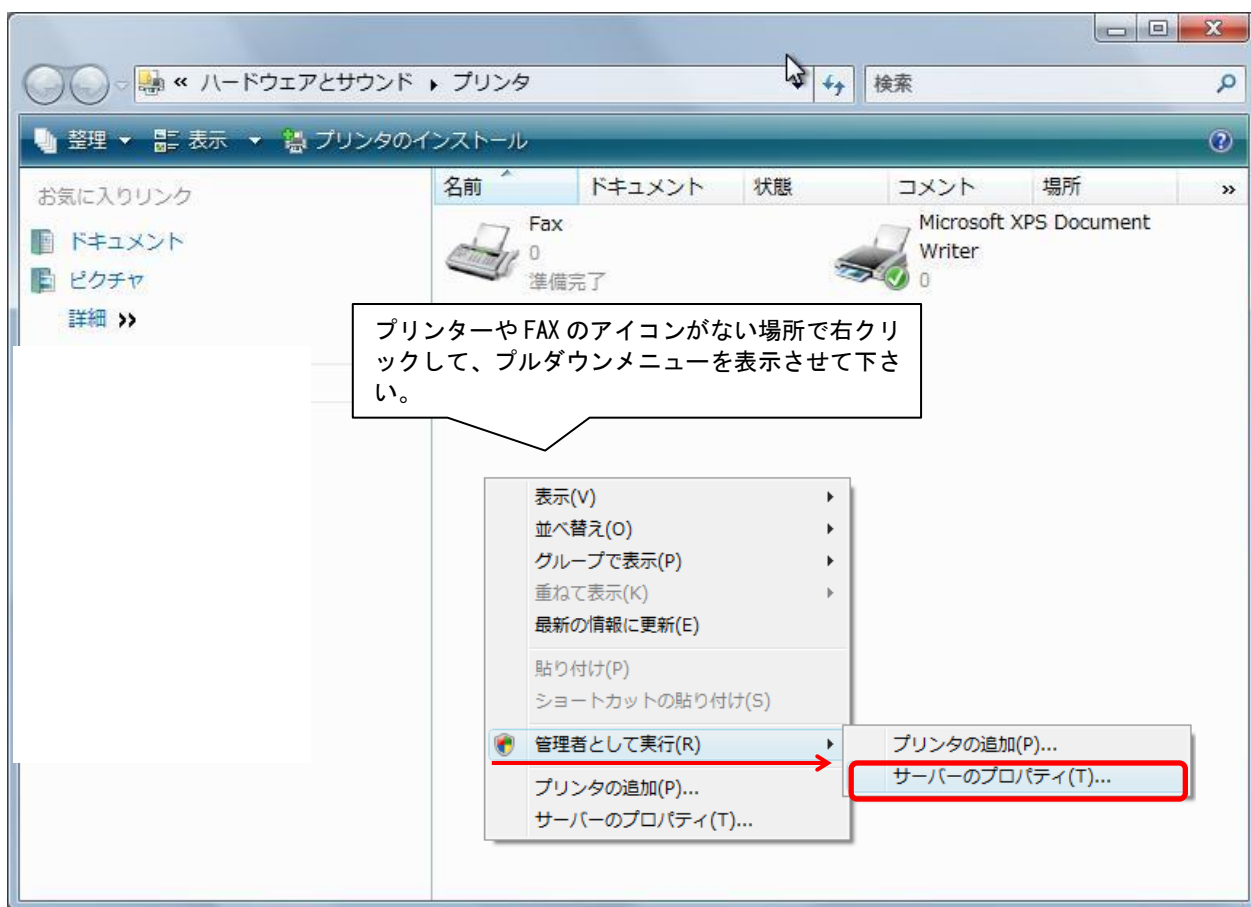


図 3.1.4 プリンターと FAX 画面で右クリックしプルダウンメニューを選択した画面

- ⑤この後、ユーザーアカウント制御で、「続行するにはあなたの許可が必要です。」と確認を求められますので、「続行」ボタンをクリックして下さい。
- ⑥プリントサーバーのプロパティ画面が表示されたら、「ドライバー」タブをクリックして下さい。インストールされたプリンタードライバー一覧から「DP-DS80D」を選択し、「削除」ボタンをクリックして下さい。

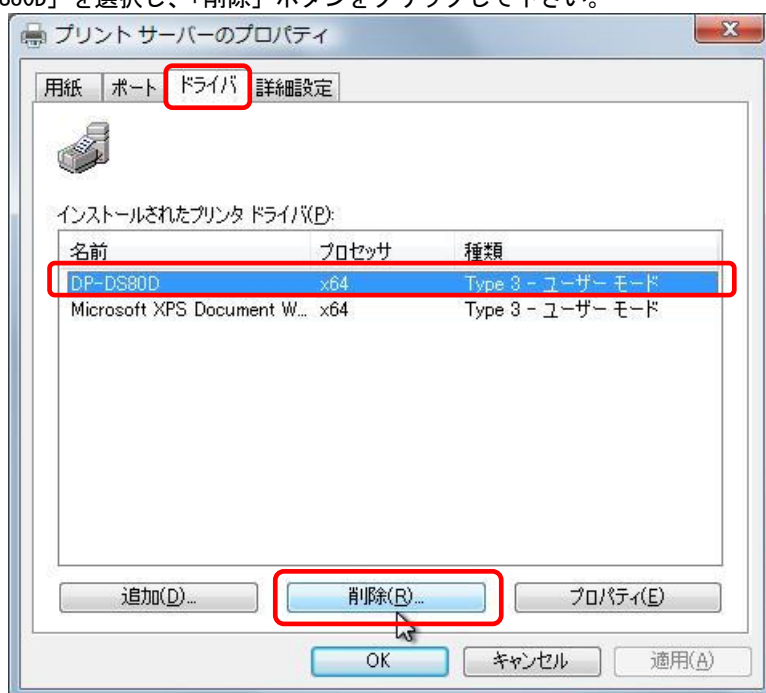


図 3.1.5 プリントサーバーのプロパティ画面

- ⑦ ドライバーとドライバーパッケージの削除選択画面が表示されたら、「ドライバーとドライバーパッケージを削除する」を選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

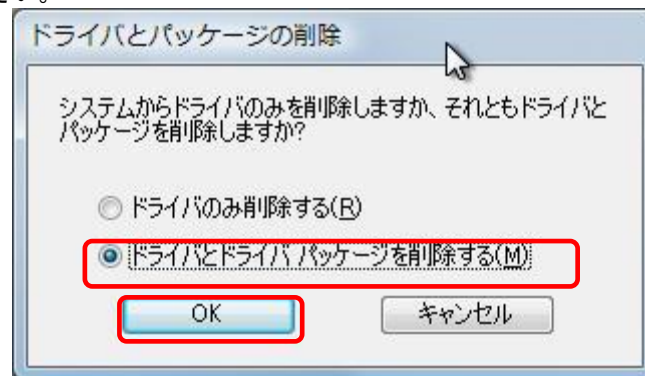


図 3.1.6 ドライバーとドライバーパッケージの削除選択画面

- ⑧ プリントサーバープロパティの確認画面が表示されたら「はい (Y)」ボタンをクリックして下さい。

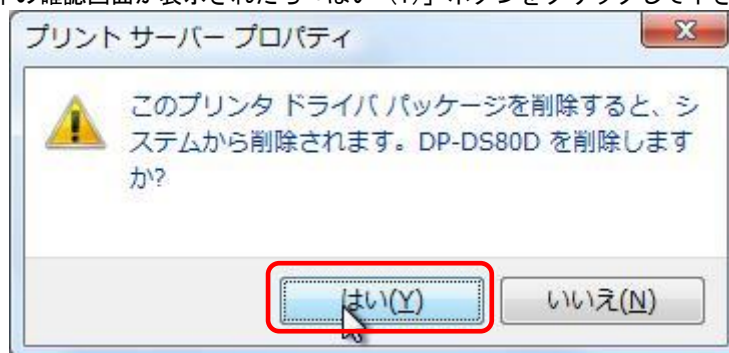


図 3.1.7 ドライバー削除確認画面

- ⑨ ドライバーパッケージの削除画面が表示されたら、「削除 (D)」ボタンをクリックして下さい。

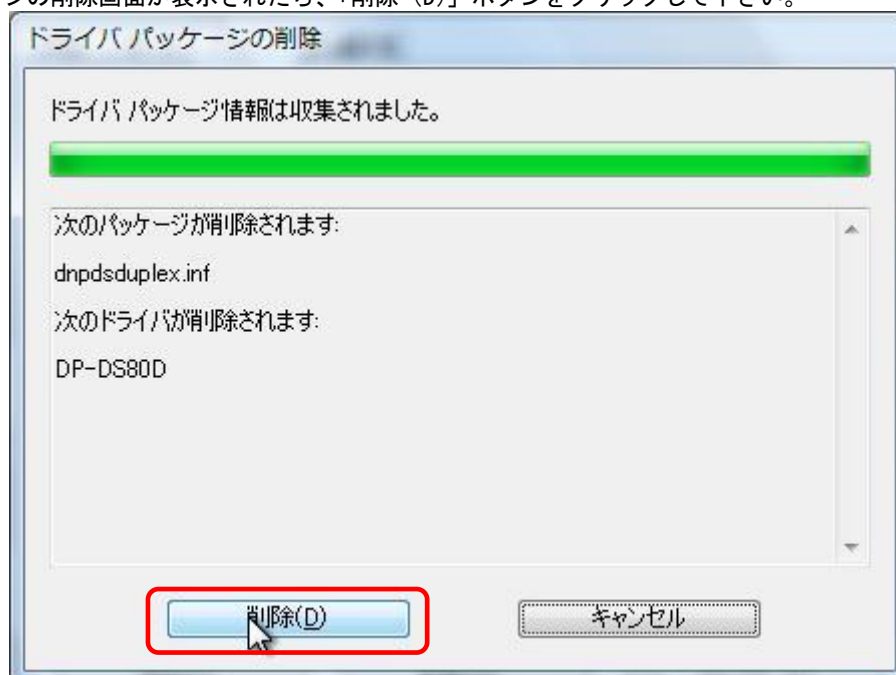


図 3.1.8 ドライバーパッケージ削除画面

- ⑩ ドライバーパッケージの削除完了画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックして下さい。

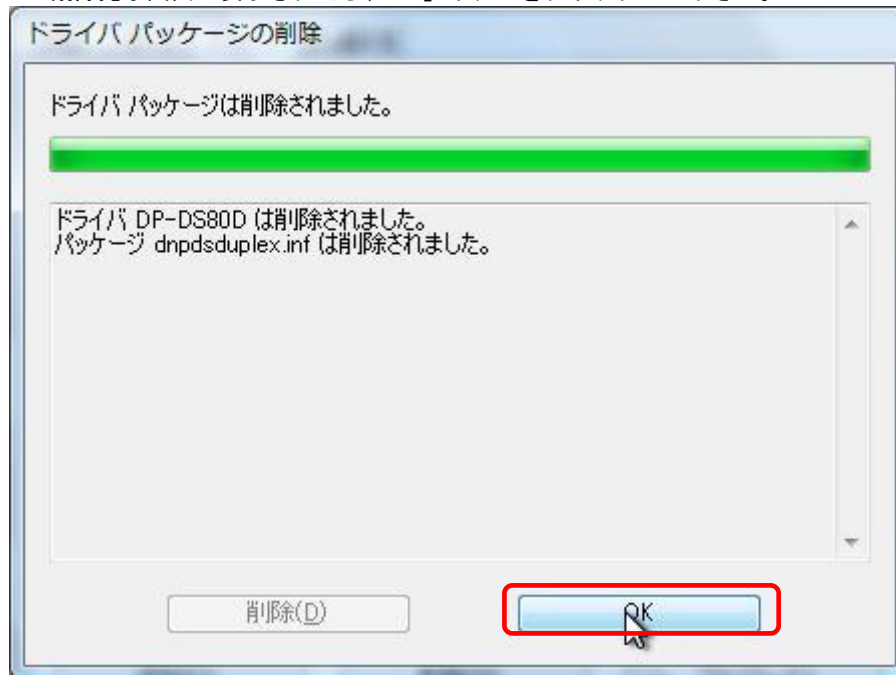


図 3.1.9 ドライバーパッケージ削除完了画面

注意) 下記エラーメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動して下さい。パソコン再起動後に、再度、プリンタードライバーの削除を行って下さい。

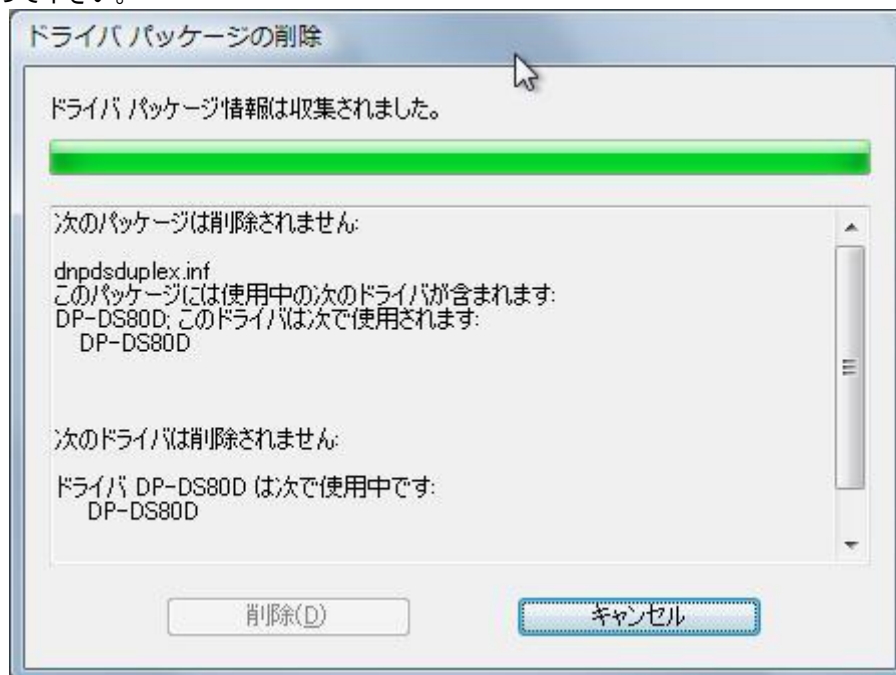


図 3.1.10 ドライバーパッケージが削除できなかった場合のエラーメッセージ

- ⑪ プリントサーバーのプロパティ画面で「DP-DS80D」が削除されていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックして下さい。これで、プリンタードライバーの削除が完了です。削除後はプリンターを再起動して下さい。

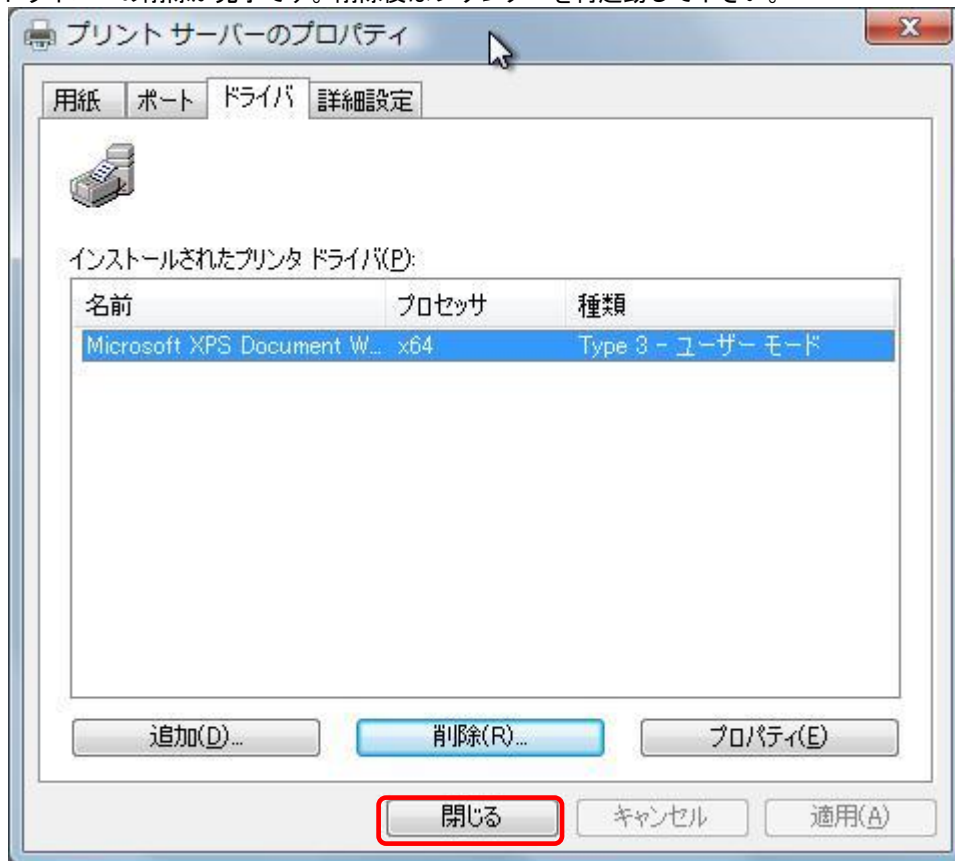


図 3.1.11 プリントサーバーのプロパティ

2. プリンタードライバーのアップグレードインストール

プリンターとプリンタードライバーを削除後、新しいプリンタードライバーをインストールして下さい。インストールの手順は、[第1章 インストール] をご覧下さい。

3. パソコンの再起動

プリンタードライバーのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。
(インストール直後に印刷を行わないで下さい。必ず1度パソコンを再起動して下さい。)

第4章 ドライバー削除の方法

プリンタードライバーを削除する場合の手順は、第3章-1 “ドライバー削除”をご覧ください。

Dai Nippon Printing Co., Ltd.